

岐阜県立国際園芸アカデミー

令和5年度自己評価報告書

－ 資料編 －

目 次

教育理念・目標

資料1-1	国際園芸アカデミー運営計画概要	_____	1
資料1-2	3つの方針（D P、C P、A P）	_____	2
資料1-3	S D G s推進の基本方針	_____	3

学校運営

資料2-1	令和5年度国際園芸アカデミーの所属目標	_____	4
資料2-2	「運営計画」令和5年度目標指標 実績	_____	5
資料2-3	教職員体制図	_____	7
資料2-4	委員会、会議等	_____	7
資料2-5	各組織の詳細	_____	8
資料2-6	産学官との連携	_____	10
資料2-7	連携協定締結自治体・企業との取組	_____	16
資料2-8	教員の研修	_____	17

教育活動

資料3-1	学生の授業評価アンケート結果	_____	21
資料3-2	主な学校行事等	_____	27
資料3-3	各種発表会・報告会	_____	28
資料3-4	職場体験実習（インターンシップ）実施状況	_____	30
資料3-5	国内視察研修	_____	31
資料3-6	特別講座の実施状況	_____	31

学修成果・教育成果

資料4-1	進路の状況（令和5年度卒業生）	_____	32
資料4-2	卒業時の進路の状況（令和5年度卒業生までの累計）	_____	33
資料4-3	資格の取得状況	_____	34
資料4-4	コンペティション等参加の状況	_____	35
資料4-5	表彰等の状況	_____	35

学生支援

資料5-1	奨学金等の状況	_____	36
資料5-2	寄付金、寄付物品	_____	38
資料5-3	休学者・退学者数、進級者数	_____	38
資料5-4	卒業生及び同窓会との連携	_____	39

教育環境

資料6-1	施設・備品の整備改修	_____	39
-------	------------	-------	----

学生の受入れ募集

資料7-1	広報活動状況 & 学生募集活動状況	_____	40
資料7-2	入学試験の実施状況	_____	45
資料7-3	学生の入学・卒業状況	_____	46

教育の内部質保証システム

資料8-1 内部質保証の基本方針及び実施体制 _____ 48

資料8-2 アセスメント・ポリシー _____ 49

財務

社会貢献・地域貢献

資料10-1 花と緑の連携授業 _____ 52

資料10-2 生涯学習講座 _____ 52

資料10-3 ボランティア活動 _____ 53

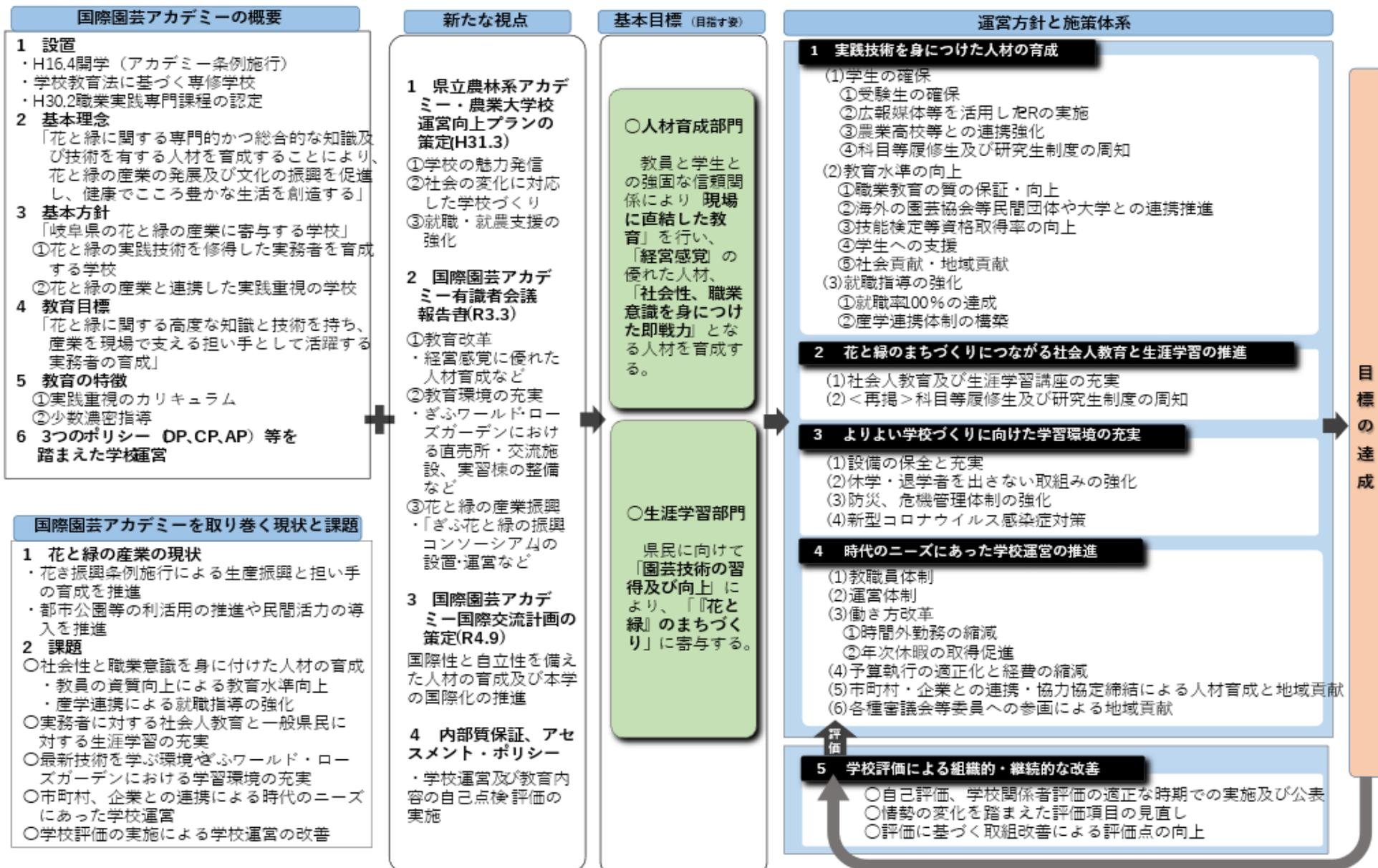
国際交流

資料11-1 国際園芸アカデミー国際交流計画の概要 _____ 56

資料11-2 国際交流の実績 _____ 57

資料1-1

「国際園芸アカデミー運営計画」(計画期間:令和2年度~令和6年度)の概要



資料1-2 3つの方針（DP、CP、AP）

本学の基本理念である「花と緑に関する専門的かつ総合的な知識及び技術を有する人材を育成することにより、花と緑の産業の発展及び文化の振興を促進し、健康でこころ豊かな生活を創造する」に基づく充実した教育活動を展開することにより、生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り拓いていく人材を育成するため、3つの方針を定めている。

卒業の認定に関する方針：DP（ディプロマ・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、次の資質・能力を身に付けた学生に対して卒業を認定し、「専門士（園芸系専門課程）」の称号を授与します。

- ① 幅広い教養を身に付け、広い視野に立ち、物事に対して公正な判断をすることができる。
- ② 幅広い専門的知識と創造的な技能、優れた経営感覚を身に付け、社会における諸問題の解消のためにその知識・技能を活用することができる。
- ③ 社会における課題探求と問題解決の能力を修得し、主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、ともに成長することができる。

教育課程の編成・実施に関する方針：CP（カリキュラム・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、教育目標を達成し、称号授与方針に示す資質・能力を身に付けさせるため、次のような教育課程を編成し、実施します。

- ① 教育課程において、基礎教育科目、専門教育科目、応用教育科目、研究教育科目を段階的に学習できるよう体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を実施することにより、専門分野の知識・技能を確実に修得し、問題解決のために活かすことができるようにする。
- ② 演習や実習科目を中心に能動的学習要素を取り入れることにより、生涯にわたって主体的に学び、他者との相互理解や意見交換ができるようにする。
- ③ 学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、学習行動調査や国際的な評価制度（GPA）の導入、修得時間数に基づく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。
- ④ 開講科目については、シラバスにより授業計画、学習到達目標、成績評価基準などを明確にし公表する。

入学者の受け入れに関する方針：AP（アドミッション・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、高等学校等における学習を通じて、次のような資質・能力を身に付けている人を受け入れます。

- ① 専門学校での学修の基礎となる高等学校における各教科の基本事項を修得している。
- ② 学修成果を社会で活かすという目的意識がある。
- ③ 専門学校在学中だけでなく、卒業後も学び続ける意欲がある。
- ④ モラルがあり、基本的な態度や礼儀（言動や身だしなみなど）が身につけている。
- ⑤ 基本的な生活習慣（体調管理、時間管理など）が身につけている。
- ⑥ 他者を思いやり、協調性を重んじる人。

※3つの方針を定め、公表することは、大学においては学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）により義務となっている。本学は専修学校であり義務となっていないが、体系的で組織的な教育活動を展開する上で重要な役割を担うものであり、大学に準じて定め、公表している。

資料 1-3 SDGs 推進の基本方針

1. 岐阜県立国際園芸アカデミーがSDGs 達成に向けて貢献できること

気候変動の進行による自然災害の多発化、生物多様性の喪失、飢餓や貧困問題など、世界では、様々な問題に直面しています。

それらの問題の解決に向けて、2015年には、国際社会共通の目標として、2030年までに達成すべき17の項目、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」が定められました。これは、遠い世界の出来事ではなく、日本の私たちの生活にも深く関わっています。これからの時代に向けて、岐阜県立国際園芸アカデミーは、SDGs 達成に向けて、どのような貢献ができるかを考えています。

2. 岐阜県立国際アカデミーの強み

岐阜県立国際園芸アカデミーは、2004年の開学以来、「花と緑の空間づくり」による健康で心豊かな生活の創造に向けて、生産、装飾、造園緑化の各分野について幅広い知識と実践技術の習得し、持続可能な社会の構築に向けて教育を行ってきました。また、それらの実践を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

3. 岐阜県立国際アカデミーがSDGs 達成に向けて進める3つの方針

岐阜県立国際園芸アカデミーは、3つの方針を立て、このSDGs を達成していきます。

第一は、「花と緑」の教育を通じて、幅広い専門的知識と創造的な技能、優れた経営感覚を身に付け、SDGs 達成に向けて、その知識と技能を活用してこれからの持続可能な社会の構築に向けて活躍する人材の育成を行うことです。

第二に、社会における課題探求と問題解決の能力を修得し、SDGs 達成に向けた実践活動を岐阜県内外で行い、地域の環境改善活動に寄与することです。

第三に、学校運営や組織管理において、人材の多様性の尊重、環境負荷を低減するキャンパス運営を行い、幅広い分野でSDGs を達成します。

令和5年度 国際園芸アカデミーの所属目標

★印:新規 ☆印:拡充

人材育成部門	1 学生の確保	<p>【目標値】1学年定員 20人の確保 【実績値】 21人</p> <p>①受験生の勧誘 ・県内外高等学校訪問の実施及び県内高校進路ガイダンスへの参加 ☆・体験型オープンキャンパスや学校見学会の開催による魅力発信</p> <p>②広報媒体を活用したPRの実施 ・ホームページやSNS等へのトピックス・ブログの掲載及び動画配信 ★・入学式や卒論発表会等をライブやアーカイブにより配信</p> <p>③農業高校との連携強化 ・農業高校進路指導教員を対象とした学校見学会の開催 ・県内外の高校との「花と緑の連携授業」の実施</p>	4 社会人教育・生涯学習の場の提供
	2 教育水準の向上	<p>【目標値】資格取得に係る合格率 100% 【実績値】2級技能士・造園 25% フラワー装飾 100%</p> <p>①職業教育の質の保証・向上 ★・アセスメント・ポリシーに基づく学修成果の適切な評価と改善の実施 ・最新技術習得と人的ネットワーク構築に向け教員企業研修の実施</p> <p>②「有識者会議報告書」に掲げる施策の推進 ★・ぎふワールド・ローズガーデン内花トピア整備による教育環境の充実及び令和6年度供用開始に向けた時間割の編成</p> <p>③国際交流計画に基づいた海外教育機関等との連携 ★・フランス等欧州の教育機関等との相互交流実施に係る調査 ★・留学生受け入れに係る国内の大学等との情報交換会の開催</p> <p>④技能検定等資格取得率の向上 ☆・新たな非常勤講師による資格取得授業の充実及び連携企業が開催する技術研修への参加</p> <p>⑤学習意欲向上に繋がる学生への経済的支援 ★・新たな奨学金制度の設置運用及び寄附金を財源とした学校支援金の活用</p>	<p>生涯学習部門</p> <p>①本学主催「生涯学習講座」の開催 ☆・夏休みにおける親子体験講座や庭木剪定の実習講座等の拡充 ☆・オンラインや夜の時間帯等社会人が参加しやすい講座の拡充及び卒業生の学び直しのための「おさらい講座」の拡充</p> <p>②連携・協力協定締結自治体との取組み ・自治体が主催する市民講座やまちづくり活動への講師の派遣</p> <p>③科目等履修生、研究生制度の周知 ・卒業生、社会人、業界関係者等に向けた制度の積極的な周知</p>
	3 就職指導の強化	<p>【目標値】就職希望者の就職率 100% 【実績値】就職希望者の就職率 89%</p> <p>①就職希望者全員の就職達成 ・卒業生が活躍している企業等でのインターンシップの実施 ・卒業生から学ぶ「花と緑の意見交換会」や「企業説明会」の開催 ★・入学時からの計画的な個別面談による進路指導の実施</p> <p>②産学連携体制の構築 ・魅力ある就職先拡大につながる花と緑の関連企業との共同研究の実施</p>	5 よりよい学校づくりに向けた取り組み
			<p>【目標値】 【実績値】</p> <p>①花トピア教育環境整備の充実 ★・花苗の販売や学生制作作品の展示等を行う環境整備</p> <p>②学生の抱える不安や悩みに応える取組の強化 ・スクールカウンセリングによる学生相談の実施 ・学生生活や進路について家族に情報提供する「個別相談会」の開催</p> <p>③地域社会と繋がる様々な課外活動への参加支援 ★・花いけバトル等のイベントや地域における花育・ワークショップ等ボランティア活動への学生の自主的な参加をバックアップ</p> <p>④連携・協力協定締結自治体が主催する各種審議会等への参画 ・産業振興、環境保全、景観まちづくりなど地域課題への助言</p> <p>⑤学校評価の実施 ★・「内部質保証推進委員会」と「自己点検・評価委員会」による自己評価及び改善計画の作成・実行による教育・研究の質の保証 ・学校関係者評価委員会の開催及び学校評価の公表</p> <p>⑥開学20周年 ★・開学20周年に向けた記念行事等の企画</p> <p>⑦予算執行の適正化・経費の節減及び「働き方改革」の推進 ・歳入・歳出の適正管理及び燃料費・光熱水費、コピー用紙の節減 ・時間外勤務の縮減及び年次休暇の取得促進</p>
			<p>【目標値】 【実績値】</p> <p>①花トピア教育環境整備の充実 ・学生要望に基づく学習環境整備1件以上 3件 ・連携・協力協定締結先との取組数50取組 42取組</p>

資料2-2

「国際園芸アカデミー運営計画」目標指標
進捗管理表(令和5年度実績まで)

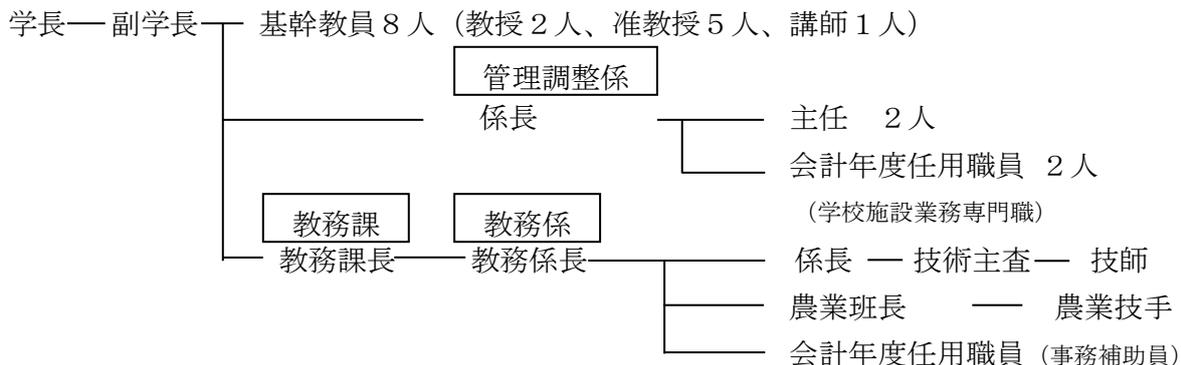
令和6年3月

目標指標	基準値 令和元年度	区分	暫定目標				目標年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 実践技術を身に付けた人材の育成							
1 オープンキャンパス、学校見学会の開催日数	11日間	目標値	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	14日間以上
		実績値	12日	15日※(動画配信含)	15日	14日	
		達成率	86%	100%	100%	100%	
2 資格取得に係る合格率							
造園:2級造園技能士実技	86%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	造園100%
		実績値	67%	60%	100%	25%	
		達成率	67%	60%	100%	25%	
装飾:2級フラワー装飾技能士実技	100%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	装飾100%
		実績値	100%	50%	100%	100%	
		達成率	100%	50%	100%	100%	
3 学生の授業アンケート結果「やや不満足」、「不満足」の授業数	16授業	目標値	13授業	10授業	7授業	4授業	0授業
		実績値	9授業	15授業	11授業	5授業	
		達成率	100%	0%	0%	0%	
4 就職希望者の就職率	100%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	100%
		実績値	100%(21人)	93%(14人)	100%(20人)	89%(16/18人)	
		達成率	100%	93%	100%	89%	
2 花と緑のまちづくりにつながる社会人教育と生涯学習の推進							
5 生涯学習講座開催数	33講座 (H27~R元計)	目標値	8講座	16講座(累計)	24講座(累計)	32講座(累計)	40講座(R2~R6計)
		実績値	8講座	17(R3:9)講座	25(R4:8)講座	33(R5:8)講座	
		達成率	100%	100%	100%	100%	
6 社会人教育(実務者向け)講座開催数	9講座 (H27~R元計)	目標値	5講座	10講座(累計)	15講座(累計)	27講座(累計)	40講座(R2~R6計)
		実績値	5講座	14(R3:9)講座	25(R4:11)講座	37(R5:12)講座	
		達成率	100%	100%	100%	100%	
7 受講者アンケート結果 「十分満足」、「満足」の満足度	平均84.7% (H27~R元平均)	目標値	90%	90%	90%	90%	90%以上
		実績値	93.9%	95.5%	93.0%	95.2%	
		達成率	100%	100%	100%	100%	

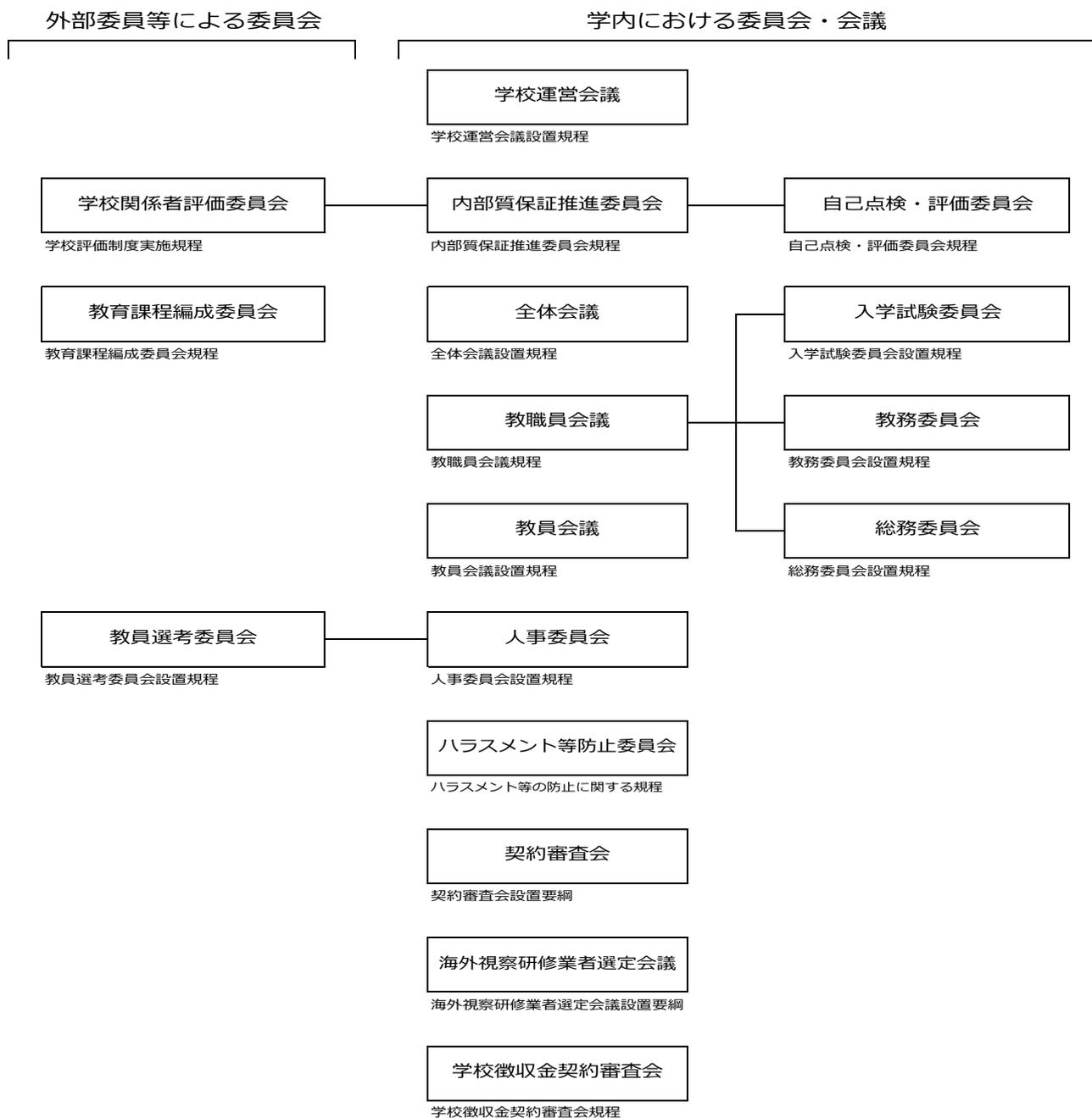
3 よりよい学校づくりに向けた学習環境の充実								
8	オンライン授業等が実施できる環境整備	未整備	目標値	○Wi-Fi環境整備 ○タブレット端末購入	○新1年生、新2年生へのタブレット端末配布 ○授業のライブ配信、撮影済み授業(授業制作)の配信など、本格運用の開始 ○端末等の維持管理	○新1年生へのタブレット端末配布 ○授業のライブ配信、撮影済み授業(授業制作)の配信など、本格運用 ○端末等の維持管理	○新1年生へのタブレット端末配布 ○授業のライブ配信、撮影済み授業(授業制作)の配信など、本格運用 ○端末等の維持管理	Wi-Fi環境整備、タブレット端末購入・配布、授業制作など本格運用中
			実績値	○Wi-Fi環境整備(アクセスポイント13箇所) ○タブレット端末購入(45台) ○ウェアラブルカメラ購入 ○Webカメラ購入	○タブレット端末配布 ○本格運用 ○端末等の維持管理 ○タブレット端末購入(3台)	○タブレット端末配布 ○本格運用 ○端末等の維持管理 ○タブレット端末購入(3台)	○タブレット端末配布 ○本格運用 ○端末等の維持管理 ○タブレット端末修理(4台) ○キーボード修理(6台) ○花びらネットワークの整備	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
9	ドライリスト整備温室数	0温室	目標値	2温室整備	4温室整備(累計)	6温室整備(累計)	8温室整備(累計)	8温室(R2~R5計)
			実績値	2温室整備(2号・7号温室)	4温室整備(累計)(1号・4号温室)	6温室整備(累計)(3号・9号温室)	7温室整備(累計)(8号温室)	
			達成率	100%	100%	100%	88%	
10	学生アンケートにより要望のあった学習環境整備の対応数	-	目標値	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	5整備(R2~R6計)
			実績値	2整備 ・トイレ洋式化(4基) ・Wi-Fi環境整備	3整備 ・扇風機整備 ・時計修理 ・自販機の追加	・トイレに消音装置 ・浄水器の設置 ・更衣室の扇風機に延長コード設置	・交通安全看板、照明設置 ・トイレ手洗いの修繕 ・熱中症指数計の導入	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
4 時代のニーズにあった学校運営の推進								
11	市町村、企業との連携・協力協定締結数	6協定	目標値	7協定(累計)	8協定(累計)	9協定(累計)	10協定(累計)	11協定
			実績値	8協定(累計)	8協定(累計)	8協定	8協定	
			達成率	100%	100%	89%	80%	
12	連携・協力協定締結先との取組数	-	目標値	25取組	55取組(累計) 30取組(単年度)	90取組(累計) 35取組(単年度)	140取組(累計) 50取組(単年度)	200取組(R2~R6計)
			実績値	27取組	66(R3:39)取組	106(R4:40)取組	148(R5:42)取組	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
13	業界と連携した新商品等の研究開発に係る取組数	-	目標値	3取組	6取組(累計)	9取組(累計)	12取組(累計)	15取組(R2~R6計)
			実績値	3取組	8(R3:5)取組	13(R4:5)取組	18(R5:5)取組	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
5 学校評価による組織的・継続的な改善								
14	学校関係者評価委員会の適切な開催と公表	7月開催、9月公表	目標値	評価対象:令和2年度 R3.7月開催 R3.9月公表	評価対象:令和3年度 R4.4月開催 R4.5月公表	評価対象:令和4年度 R5.4月開催 R5.5月公表	評価対象:令和5年度 R6.4月開催 R6.5月公表	評価対象:令和6年度 R7.4月開催 R7.5月公表
			実績値	5/31開催、7月公表	5/26開催、6月公表	6/2開催、6月公表	年度内未実施	
			達成率	100%	0%	0%	-	
15	学校関係者評価での評価値	平均評価値3.27	目標値	平均評価値3.4	平均評価値3.5	平均評価値3.6	平均評価値3.7	平均評価値3.8
			実績値	平均評価値3.37	平均評価値3.45	平均評価値3.60		
			達成率	99%	99%	100%	-	

資料2-3 教職員体制図 (令和5年度)

顧問



資料2-4 委員会、会議等 (令和5年度)



資料 2-5 各組織の詳細

(1) 各種委員会等の構成員

委員会等名称 ※ () は庶務 又は 事務局	代表者又は は 主宰者	構 成 員
学校運営会議 (教務課)	学 長	学長、副学長、臼田教授、相田教授、教務課長
全体会議 (管理調整係)	学 長	全教職員
教職員会議 (管理調整係)	学 長	学長 (議長)、副学長、専任教員、教務課長、 教務係長、管理調整係長
教員会議	臼田教授	臼田教授 (議長)、相田教授、井上准教授、佐藤准教授、 吉田准教授、前田准教授、新井准教授、林講師
入学試験委員会 (教務係)	学 長	学長 (委員長)、副学長、臼田教授、相田教授、 教務課長、教務係長、教務係担当
教務委員会 (教務係)	臼田教授	臼田教授 (委員長)、井上准教授、佐藤准教授、 新井准教授、林講師、教務係長、教務係担当
総務委員会 (教務係)	相田教授	相田教授 (委員長)、佐藤准教授、吉田准教授、 前田准教授、教務課長、管理調整係長、教務係担当
ハラスメント等防止委員会 (教務係)	学 長	<防止委員会> 学長 (委員長)、副学長 (副委員長)、臼田教授 (学科主任)、 吉田准教授 (女性教職員)、教務課長 <相談窓口> 総括相談員：相田教授 (総務委員長) 相 談 員：佐藤准教授 (総務委員)、 吉田准教授 (女性教職員)
教員選考委員会 (教務課)	農政部長	農政部長 (委員長)、農政課長、農産園芸課長、 学長、副学長、臼田教授、相田教授
人事委員会 (教務課)	学 長	学長 (委員長)、副学長、臼田教授、相田教授、 教務課長
契約審査会 (管理調整係)	学 長	学長 (会長)、副学長 (副会長)、臼田教授、 教務課長、管理調整係長
海外視察研修業者選定会議 (教務係)	学 長	学長 (議長)、副学長 (副議長)、教務課長、 引率教職員、管理調整係長
学校徴収金契約審査会 (管理調整係)	学 長	学長 (会長)、副学長 (副会長)、 臼田教授 (学科主任)、教務課長、学生会代表
内部質保証推進委員会 (教務係)	学 長	学長、副学長、臼田教授、相田教授、教務課長
自己点検・評価委員会 (教務係)	教務課長	教務課長、臼田教授、相田教授、吉田准教授、 管理調整係長、教務係長

(2) 教務・総務委員会における業務分掌

【教務委員会】

役割（担当項目）	分掌事務	主任	副主任
委員長	1 委員会業務総括・管理	臼田教授	井上准教授
	1 シラバス作成	井上准教授	臼田准教授
	2 時間割の調整	井上准教授	臼田准教授
	3 授業評価	井上准教授	佐藤准教授
	4 進路指導	佐藤准教授	臼田教授
	5 企業説明会	佐藤准教授	林講師
	6 インターンシップ	林講師	新井准教授
	7 卒業研究・卒業制作	井上准教授	林講師
	8 海外視察研修報告会	新井准教授	佐藤准教授
	9 生涯学習講座の企画	林講師	新井准教授
	11 花と緑の意見交換会	佐藤准教授	新井准教授
	12 岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会	新井准教授	井上准教授
庶務担当	1 委員会の庶務	教務係	

【総務委員会】

役割（担当項目）	分掌事務	主任	副主任
委員長	1 委員会業務総括・管理	相田教授	佐藤准教授
	1 学校主要行事の企画・実施		
	(1) 活動成果報告会	吉田准教授	佐藤准教授
	(2) 教員企業研修報告会	佐藤准教授	前田准教授
	(3) 個別相談会	佐藤准教授	相田准教授
	2 広報パンフレット作成	相田教授	吉田准教授
	3 学校ホームページ更新	佐藤准教授	相田教授
	4 オープンキャンパス・学校説明会	吉田准教授	前田准教授
	5 施設・備品の整備・管理	佐藤准教授	前田准教授
	6 環境美化・エリア管理	佐藤准教授	相田教授
	7 図書収集・管理	佐藤准教授	相田教授
	8 学生会活動、課外活動	佐藤准教授	吉田准教授
	9 同窓会との連携・調整	前田准教授	吉田准教授
	10 農業高校との交流活動	前田准教授	吉田准教授
	11 ボランティア活動の推進	吉田准教授	相田准教授
庶務担当	1 委員会の庶務	教務係	管理調整係

(3) 学科主任、学年主任

学科主任	1 学年主任		2 学年主任
	前 期	後 期	
白田 教授 (教務委員長)	相田 教授 (総務委員長)	白 田 教授 : 花き生産コース 吉 田 准教授 : 花き装飾コース 相 田 教授 : 造園緑化コース	

(4) 生涯学習部門主任

教務課長

資料2-6 産学官との連携

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
企業・団体			
(花き生産)	小関園芸 (坂祝町)	生分解性ポット栽培試験 (4/5, 7/7, 12/1)	前田
〃	岐孝園 (瑞穂市)	珪藻土ウレタン共同研究 (8/24)	前田
〃	オグリ (坂祝町)	珪藻土ウレタン共同研究 (8/30)	前田
〃	岐阜花き流通センター (北方町)	・総会 (8/26) ・珪藻土ウレタン商品 PR で内覧会出展 (9/22) ・新年交歓会 (1/26) ・春の内覧会 (2/23)	今西 前田 今西 白田、前田
〃	(有)水野園芸 (恵那市)	花き就農応援隊現地研修会 (9/29)	白田、井上、前田
〃	(株)フロムシード信州 (長野県伊那市)		
〃	可茂地域青年農業士・ 4H クラブ	アカデミー学内視察、学校概要説明、課題研究の 紹介 (11/7)	白田、前田
〃	岐阜県園芸特産振興会	岐阜県園芸特産振興会 60 周年大会 (2/20)	今西
(花き生 産・花き装 飾)	寄せ植え華道協会	寄せ植え華道協会総会・25 周年記念式典 (3/17)	今西
(花き装飾)	日本フラワーデザイ ナー協会岐阜県支部	花育 郡上東中学校 (11/14)、付知南小学校 (11/27)、	吉田、林

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(花き装飾)	ぎふフラワー研究会	フランネルフラワー取り扱い生花店との意見交流会 (2/9)	林
〃	岐阜県園芸特産振興会	岐阜県園芸特産振興会設立60周年大会 コサージュ作成 (2/20)	吉田、林
(造園緑化)	(公社)日本造園学会	・都市公園リノベーション計画技法研究推進委員会 (4/8, 5/6, 8/5) ・日本造園学会全国大会 (6/16~18) ・日本造園学会中部支部大会 (12/16, 17)	今西 今西、相田 相田
〃	関ヶ原ゼネラル・サービス (株)	・関ヶ原開戦地景観整備事業連携 (4/22, 11/11) ・「フジバカマの収穫とポプリを作ろう」教室 (11/11)	今西、前田 今西、前田
〃	日本公園施設業協会 中部支部	総会 (5/10)	古澤、今西
〃	(一社)公園管理運営士会	・総会 (5/26)、シンポジウム (5/26) ・支部長会議 (10/2)	今西
〃	(一社)愛知県造園建設業協会	総会 (5/31)	今西
〃	可児市建設業協連合会、可児造園協同組合	・初夏のロードプレーヤー (6/17) ・秋のロードプレーヤー (11/4)	新井 新井、今西
〃	(一社)公園管理運営士会中部支部	・講演会 (6/30) ・視察研修 (10/25)、講習会 (12/11)	今西
〃	(一社)日本造園建設業協会	協会派遣講師による「造園業における働き方講座」(7/25, 2/21)	古澤、今西、相田、 新井、小野寺、山本、 伊藤、長谷川、村瀬
〃	ヤハギ緑化(株)	・社屋視察 (9/28) ・寄附受納、寄付に関する感謝状の贈呈 (12/12) ・意見交換会 (1/12)	新井 今西 新井
〃	(一財)日本造園修景協会東海支部	視察研修会 (10/25)	今西
〃	(一社)名古屋市造園建設業協会	日中民間友好交流 成都農業科学技術職業学院 シンポジウム (10/26~10/29)	今西
〃	可児市造園協同組合	新年互例会 (1/17)	今西
(他業種)	(株)東海化成 (美濃市)	・生分解性ポット共同研究 (4/5, 5/10, 8/24, 10/28) ・共同研究結果報告 (1/16)	前田

区分	連携先	連携内容	教職員名
(他業種)	ニッポー工業(株) (愛知県岡崎市)	珪藻土ウレタン共同研究(4/17, 9/22, 11/6, 2/13)	前田
〃	岐阜放送	「美の精華」出演 (4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 8/24, 9/28, 10/26, 11/23, 12/28, 1/25, 2/22, 3/28)	相田
〃	ハンナ インストル メント・ジャパン	培養土のpH・EC測定(6/16)	前田
〃	けやき可児	園芸福祉の実践連携(10/16, 10/30)	相田
教育機関			
区分	連携先	連携内容	教職員名
(大学)	岐阜大学	・岐阜県域農林業教育システム連携協力会議 (6/27, 10/31) ・第11回岐阜県域農林業教育システム研究発表 交流会(1/20)	今西 今西、白田、前田、
(高校)	岐阜農林高等学校	アカデミー学内視察、学校概要説明(5/17)	佐藤、長谷川
〃	加茂農林高等学校	・なんじゃ祭出店(6/10) ・(一社)日本造園建設業協会出前講座(2/21)	吉田 今西
〃	大垣養老高等学校	ひょうたん栽培情報交換(6/13)	井上
〃	郡上高等学校	アカデミー学内視察、学校概要説明(6/21)	相田、伊藤
(農業大学 校)	岐阜県農業大学校ほ か	緑の学園(9/12)	今西、 各コース担当教員
(農業大学 校)	岐阜県農業大学校	・入学式・卒業式会場装飾(4/11, 3/5) ・授業『経営設計』非常勤講師 (5/31, 6/13, 6/27, 6/30) ・農大野菜専攻学生、教員のアカデミー圃場・実習 視察(5/23) ・農大生、なんじゃ祭での野菜販売(6/10) ・アカデミー学生、教員の農大圃場視察(7/20) ・アカデミー学生、農大祭での花苗等販売(11/12) ・成果発表会(2/9)	林 佐藤 前田 佐藤 前田 前田、佐藤 伊藤

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(幼稚園)	かわい幼稚園	かわいワクワク研究 (7/26)	前田
行政機関等			
(委員会・ 審議会等)	(一社)日本公園緑地協会	公園管理運営士認定委員会 (4/14, 8/31, 1/31)	今西
〃	(一社)公園管理運営 士会	・認定委員会(4/14, 8/31, 1/31)、 ・理事会(4/25, 5/26, 12/13, 3/15)	今西
〃	(一財)公園財団	理事会 (5/23, 6/21, 3/26)	今西
〃	(一財)日本造園修景 協会東海支部	・役員会 (6/5) ・総会 (7/12)	相田
〃	(一社)公園管理運営 士会中部支部	役員会・総会 (6/30)	今西
〃	国土交通省 中部地 方整備局	国営木曾三川公園基本計画アドバイザー会議 (3/13)	今西
〃	岐阜県	・花と緑のコンソーシアム総会 (4/20) ・岐阜県都市公園活性化懇談会 (7/5, 12/28) ・「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会 (7/11) ・百年公園運営協働会議(7/13, 11/28) ・全国都市緑化ぎふフェア実行委員会(8/2) ・ぎふワールド・ローズガーデン運営協働会議 (8/7, 1/24) ・ぎふ清流里山公園運営協働会議 (8/29, 2/1) ・清流の国ぎふ芸術祭実行委員会総会 (9/14) ・全国都市緑化ぎふフェア実行委員会 企画委員 会(10/30, 2/6)	今西 古澤、今西 小野寺 今西 古澤、今西、相田 今西 相田 今西 今西
〃	愛知県名古屋市	・久屋大通再生有識者意見交換会(10/24) ・名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業有識者 モニタリング会議 (1/22)	今西
〃	多治見市	多治見市風景づくりアドバイザー会議 (5/10, 7/12, 8/9, 8/23, 9/13, 9/27, 10/11, 10/25, 11/8, 2/14, 2/28, 3/27)	今西
〃	愛知県刈谷市	・猿渡公園公募対象公園施設設置等予定者・指定 管理者選定委員会 (8/8, 11/2) ・魅力あふれる公園づくり推進委員会 (6/28, 11/2, 3/21)	今西

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(委員会・ 審議会等)	静岡県静岡市	清水船越堤公園 Park-PFI 事業者選定委員会 (5/29, 6/26, 11/28)	今西
〃	本巣市	公募対象公園施設設置等予定者選定委員会 (7/6, 10/13)	今西
〃	大垣市	大垣公園等再整備基本構想市民検討委員会 (7/8, 7/31)	今西
〃	愛知県豊田市	・豊田市鞍ヶ池公園評価委員会 (8/10) ・豊田市中央公園民間活力導入事業選定委員会 (1/23, 2/5)	今西
〃	岐阜市	岐阜市景観審議会 (8/25, 2/28)	相田
〃	愛知県知多市	指定管理者選定委員会 (10/5)	今西
〃	大野町	大野町公園等再整備検討委員会 (10/31, 12/26, 2/15)	今西
〃	愛知県岡崎市	岡崎南公園 P-PFI 事業者選定委員会 (11/20, 11/27)	今西
(講師派遣 等)	岐阜県	多治見病院緩和ケア病棟 園芸療法指導 (4/18, 5/23, 6/27, 7/11, 8/22, 9/19, 10/17, 11/15 , 12/19, 1/16, 2/20, 3/12)	相田
〃	岐阜県	FBC 岐阜県委員会指導者講習会 (5/12)	新井、前田
〃	愛知県名古屋市	再生推進フォーラム (4/21)	今西
〃	岐阜市	ハーブ・ガーデン講座 (5/14, 10/15, 11/20, 1/10, 3/10)	相田
〃	(一社)日本公園緑地 協会	公園管理運営士更新実践講習講師 (10/20)	今西
〃	中国成都農業科学技 術職業学院	講演 (10/27)	今西
〃	名古屋生花小売商業 協同組合尾北支部	実務・実技講習会(経営セミナー) (11/10)	佐藤
〃	(一社)日本造園建設 業協会 北陸総支部・ 富山県支部	総会 講演講師 (11/17)	今西
〃	ランドスケープコン サルタント協会 中部支部	講演 (11/17)	今西
〃	NPO 法人岐阜県園芸福 祉協会飛騨支部・東濃 支部	フォローアップ研修会講師 (11/25)	白田

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
〃	(一社)公園管理運営士会中部支部	都市公園法講習会講師 (12/11)	今西
〃	愛知学院大学	講義 非常勤講師(1/18)	今西
〃	造園学会リノベーション推進委員会	韓国ソウル大学 講演講師 (2/13, 14, 15)	今西
〃	昭和造園土木株式会社 岐阜市畜産センター公園	季節の寄せ植えワークショップ講師 (2/26)	吉田
〃	ぎふ清流里山公園	ワークショップ(現代アート) 講師 (3/7, 3/14, 3/16)	相田
(審査)	東海地域花き普及・振興協議会・愛知豊明鉢物流通改善協議会	・東海鉢物品評会 2023 観葉植物の部 審査員 (4/5) ・東海鉢物品評会 2023 鉢花・蘭の部 審査員 (11/15)	前田
〃	郡上高等学校	・第 74 回岐阜県学校農業クラブ連盟県大会 審査(7/4)	今西 小野寺
〃	岐阜県	・FBC 岐阜県委員会中央審査(9/19, 20, 21) ・FBC 表彰式 (11/23)	今西
(関連行事)	岐阜県	県産花き PR イベント「花と緑の癒し・環境フェア」マイクロ寄せ植え体験教室開催 (7/1)	白田 前田
〃	岐阜県	住生活月間中央イベント 卓上装花 (10/6、10/7)	吉田 林
〃	岐阜県	県農業フェスティバル 学校紹介展示 (10/28, 29)	教職員
〃	岐阜県	FBC 表彰式花飾り (11/23)	林
〃	岐阜県	J R岐阜駅・アクティブG「花で彩るクリスマス」 (12/19～25)	新井、林
〃	岐阜県	可茂総合庁舎の花飾り (12/13～12/18)	林
〃	岐阜県	第 72 回関東東海花の展覧会岐阜県ブース (1/25 ～1/28)	村瀬、林
〃	岐阜県園芸特産振興会	フラワーバレンタイン (2/8 可児市、美濃加茂市、 県庁)	吉田、林

資料2-7 連携協定締結自治体・企業との取組

自治体名	内 容	教職員名
大野町	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワー都市交流連絡協議会総会・交流会（福岡県久留米市開催、大野町交流使節団として参加）（4/26, 27） ・「バラまつり大野2023」における学内生産物販売ブース出店（5/13） ・公園事業のアドバイス（9/7） ・公園等再生計画検討委員会（10/31, 12/26, 2/19） ・活動成果報告会（2/16）視聴 	<p>今西</p> <p>今西、井上、前田</p> <p>今西</p> <p>今西</p> <p>—</p>
関市	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生のための関なかサーチ事前打ち合わせ（4/19、6/14）、事前調査（7/18） ・アジサイ調査・報告（6/28, 7/6, 3/13） ・国内視察研修報告会（6/1）、インターンシップⅢ報告会（11/1）、インターンシップⅠ報告会（11/30）WEB、活動成果報告会（2/16）、卒業式（3/5）視聴 	<p>今西</p> <p>相田</p> <p>—</p>
可児市	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動花の育て方講習講師（4/21, 10/31） ・可児市花いっぱい運動推進委員会（4/28） ・桂ヶ丘自治会まちづくり支援（4/16, 5/21, 7/23, 8/20, 10/20, 11/18, 12/10, 1/21, 2/11） ・バラ議会 バラの鉢ラッピング（5/29, 6/7, 6/19） ・可児市花いっぱい運動花壇コンクール審査員（7/11） ・可児市議会意見交換（8/30） ・フラワーバレンタイン（2/8） 	<p>新井</p> <p>今西</p> <p>相田</p> <p>吉田、林</p> <p>山本</p> <p>今西</p> <p>吉田、林</p>
美濃加茂市	<ul style="list-style-type: none"> ・「市庁舎玄関前花壇」（みのかも花の会）における植栽指導（6/4、11/11） ・「大手町公園花壇」（みのかも花づくりの会）における植栽指導（6/14） ・「大手町公園あじさい」（商工会）における植栽指導（11/13, 3/28） ・旧桜井邸庭園の現地調査（11/8, 3/28） ・フラワーバレンタイン（2/8） ・活動成果報告会（2/16）視聴 	<p>相田</p> <p>相田</p> <p>相田</p> <p>相田</p> <p>吉田、林</p> <p>—</p>
各務原市	<ul style="list-style-type: none"> ・緑審議会（2/2） ・生涯学習講座への参加（9/5） ・インターンシップ及び各務原市内企業説明（2/19） 	<p>古澤</p> <p>—</p> <p>長谷川</p>

自治体名	内 容	教職員名
自治体 (関市、可児市、大野町、美濃加茂市、各務原市)	報告会、行事のWEB配信 入学式(4/11)、国内視察研修報告会(6/1)、インターンシップⅢ報告会(11/1)、インターンシップⅠ報告会(11/30)、卒業研究・卒業制作発表会(2/7)、活動成果報告会(2/16)、卒業式(3/5)、教員企業研修報告会(3/8)	全教員
(株)岐阜造園	<ul style="list-style-type: none"> ・求人票受領・掲示 ・入学式(4/11) ・企業説明会への参加(4/26) ・寄附受納、寄付に関する知事感謝状の贈呈(8/1) ・インターンシップの受け入れ (2年生1名 8/28~8/31、1年生1名 11/6~19) ・寄付金の活用実績報告(3/29) 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>古澤、今西 新井</p> <p>今西</p>
昭和造園土木(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(4/11) ・企業説明会への参加(4/26) ・講義講師(5/22, 6/2) ・技術研修(7/15, 7/22, 8/26, 11/25) ・奨学金奨学生決定通知書授与式(7/3) ・花かざり設置(7/22, 8/3, 10/11, 11/28) ・生涯学習講座への参加(9/5) ・インターンシップの受け入れ (1年生1名 11/6~19) ・畜産センター寄せ植え講座 講師派遣(2/26) 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>新井</p> <p>今西</p> <p>林</p> <p>—</p> <p>新井</p> <p>吉田</p>
(株)ケーブルTV可児	<ul style="list-style-type: none"> ・花かざり設置(6/16, 7/25, 10/10, 12/8, 12/26) ・本学のTV放映 (花飾り6/21~28、ウェディング実習(ブーケ作成)の様子・五輪出場インタビュー10/25~11/1、卒業式3/13~20) 	<p>吉田、林</p> <p>—</p>

資料2-8 教員の研修 (令和5年度)

(1) 指導力・資質向上のための研修

受講日	主催者	研修内容	受講者
5/10	(一社)日本公園施設業協会中部支部	記念講演会「公園緑地行政を巡る最近の動向について」「創る公園行政から活かす公園行政へ」	今西
5/26	(一社)公園管理運営士会	シンポジウム「都市公園の公共性とは～歴史的経緯をたどる～」	今西

受講日	主催者	研修内容	受講者
6/16～18	日本造園学会	全国大会「ランドスケープ分野におけるデジタルトランスフォーメーションの広がり」と未来」	相田
6/30	(一社)公園管理運営士会中部支部	講演会「全てはコミュニケーションから始まる」	今西
6/30	岐阜県教育委員会	教育相談における不登校支援	相田
7/15, 7/22, 8/26, 11/25	昭和造園土木(株)	昭和造園土木(株)社内研修	新井
8/17, 18, 9/7, 10/18	ランゲート株式会社 (厚労省委託事業)	労働法の教え方セミナー	佐藤
8/21	日本取引所グループ (JPX)	先生のための夏休み経済教室	佐藤
9/1	(一社)日本公園緑地協会	講演会「しなやかな国土形成の基盤”みどり”と公園緑地」「防災公園の歩みと今後の展望」	今西
10/3	(一財)公園財団	講演会「牧野富太郎ワールド植物学90年」	今西
10/25	(一社)日本造園修景協会東海支部・(一社)公園管理運営士会中部支部	視察研修 三重県営都市公園熊野灘臨海公園の城の浜地区	今西
11/6	(一財)公園財団	フォーラム「地域の人や資源、歴史を活かした公園まちづくり」	今西
11/13, 1/10	切バラハウスデータ駆動型農業推進協議会	データ活用研修会	白田
11/29	(公財)都市防災美化協会	シンポジウム「緑地整備と体制のあり方に関するシンポジウム-1964五輪・駒沢オリンピック公園と2025五輪・新国立競技場緑地の違い」	今西
11/28	岐阜県職業能力開発協会	講演「丸ごと元気に！持続可能なものづくりを目指して」	林
12/16, 17	日本造園学会中部支部	シンポジウム「福井の風景まちづくり」	相田
1/15	国土交通省PPP協定パートナー中央コンサルタンツ(株)	PPP/PFI公民連携実務者セミナー～都市公園新時代、包括的な管理運営のあり方～	今西
1/26	岐阜花き流通センター農業協同組合	講演「幸せな職場をつくろう！幸福学を取り入れた経営で楽しく業績アップ」	今西

受講日	主催者	研修内容	受講者
2/16	(一社) パークマネジメント協会	公園におけるみどりの価値の見える化と指標化	今西
2/17, 18	(一社) 日本造園組合連合会	造園実習指導力向上研修会	新井
2/19	岐阜県農業技術センター・岐阜大学	農業技術センター成果検討会	臼田、前田
2/20	岐阜県園芸特産振興会	講演「岸田政権と日本経済」	今西
2/25	(公財) 名古屋しみどりの協会	緑の講演会「生物多様性を育む持続可能な庭づくり」	今西
2/27	(一財) 公園財団	講演「パリ市の公共空間緑地の取り組み」	今西
3/1	岐阜県、全国農業協同組合連合会 岐阜県本部	岐阜県スマート農業推進セミナー	前田
3/7	淡路景観園芸学校	新潮流セミナー「シンガポールとベルリンに学ぶ、緑とともにあるまちの姿」	新井
3/12	岐阜県職業能力開発協会	異業種交流会記念講演「静かで大きな変化～見逃されがちな社会の転換点～」	新井

(2) 企業派遣研修

専攻コース	受講者	研修先	研修日	研修内容
花き生産	臼田	(有) 浅野園芸 (岐阜市)	11/10, 11/24, 12/22	花き栽培の現状について、商品開発の状況について、今後の経営方針について
	井上	伊藤蟻植物農園 (愛知県)	5/15~17	クラウドファンディングの実際について、SNS戦略について、認定農家への道のりと温室建設について
	前田	福花園種苗株式会社美里農場 (三重県)	7/12	新品種育成の現状把握、様々な育種方法の知識・技術の習得、品種登録について
		有限会社泉農園 (中津川市)	7/21	シクラメンの交配技術の習得、生産者育種の戦略について、シクラメンの新品種のトレンドについて

専攻コース	受講者	研修先	研修日	研修内容
花き生産	前田	奥 隆善 (三重県)	8/23	チョコレートコスモスの交配について
花き装飾	吉田	LINOKA Kukka 梨乃花FIND 北欧フラワーデザイン協会 (東京都)	8/22、 12/26, 27	白樺と試験管を使った北欧スタイルのアレンジメントについて、フィンランドでの環境、文化、歴史、宗教的な背景とフラワーデザインの関係性について
	林	フラワーオークションジャパン (東京都)	5/8	最新の品種情報について、全国及び世界の花きの物流拠点について
		(株) FR東海 (岐阜市)	1/29	人気商品の動向について、付加価値アイテムについて、岐阜県内の生花店の情報について
造園緑化	相田	株式会社 野上緑化 (富山県)	9/15~17	富山県空港スポーツ緑地における園芸福祉活動との障害者雇用について、すずかぜ工房視察 (関連した福祉事業所)、公園と関連のある福祉施設視察事業所の管理運営及び園芸福祉プログラムの実践について
	新井	西日本短期大学 (福岡県)	10/13~15	教育カリキュラムについて、様々なプロジェクトへの取り組み内容とカリキュラムとの関連について、地域連携、社会貢献活動への取り組みについて
マネジメント等	佐藤	名古屋園芸株式会社 (愛知県)	5/19, 24, 25	企業における人材育成制度及び教育機関への教育ニーズの把握

資料3-1 学生の授業評価アンケート結果 (令和5年度)

<令和5年度前期 マイスター科1年生>

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度平均
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	栽培・生産論	必修	花き生産流通	30	白田	22	土壌の性質及び肥料の働きについて理解する。	80.9	病害虫対策について理解する。	81.8	かん水システムの特徴について理解する。	86.4	岐阜県育成花きの特性を理解する。	80.5	82.4	3.1
2	植物生理学	必修	花き生産流通	30	前田	22	植物体の構造とそのはたらきを理解する。	83.2	植物の代謝およびその制御方法を理解する。	80.9	環境制御による植物のライフサイクルの調節方法を理解する。	80.0	花の老化の仕組みおよび老化を防止する方法を理解する。	84.1	82.0	3.1
3	花き生産実習	必修	花き生産流通	90	白田	22	花きの繁殖方法を理解する。	84.5	花きの栽培管理を習得する。	85.5	花きの出荷調整を習得する。	84.1	チームワークの重要性を理解する。	93.6	85.7	3.3
4	園芸流通概論	必修	花き生産流通	30	井上	22	国内外の花きの消費状況や生産状況を理解する。	82.3	卸売市場や農協の中間業者の役割と機能を理解する。	83.6	トレードフェアを視察し、最新の情報や商品に触れて、商品開発のトレンドを知る。	84.5	物流や園芸資材に関する最新事情を理解する。	88.2	83.4	3.1
5	園芸装飾実習Ⅰ	必修	花き装飾	30	吉田	22	生活空間での植物の装飾方法および家庭園芸での植物の維持管理方法を理解する。	81.8	制作した寄せ植えハギングバスケットなどを長期メンテナンスすることによって、管理方法を習得する。	82.3	園芸装飾実技試験のデモンストレーションを通し、観葉植物を使用した装飾方法を習得する。	81.8	春から秋にかけての植物の管理を習得する。	80.9	81.7	3.1
6	フラワーデザイン実習Ⅰ	必修	花き装飾	60	林	22	フラワーアレンジメントの基本技術を習得する。	84.5	花束の基本技術を習得する。	82.7	フラワーデザインについての基本知識を習得する。	85.9			84.4	3.3
7	3級園芸装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	林	10	3級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。	87.0	3級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。	86.0	実技試験内容を繰り返し制作練習することで装飾技術を習得する。	89.4			88.3	3.5
8	3級フラワー装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	60	安保	8	3級フラワー技能検定の合格水準の技術力を習得する。	88.8	実技試験内容を繰り返し制作練習することで基礎的な技術を習得する。	87.5	学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。	87.5			87.9	3.6
9	造園学概論	必修	造園緑化	30	相田	22	造園の概念について理解する。	78.2	造園の職能について理解する。	78.2	実際に造園空間を見学することにより、様々な造園空間に対する知見を深める。	82.3	各時代につくられた日本と海外の庭園・造園やわが国の公園制度、造園の今日的課題を理解する。	79.1	79.4	2.8
10	花修景実習Ⅰ	必修	造園緑化	30	相田	22	植物の植栽管理を通じて、継続的に記録することができる。	80.9	花壇の計画ができる。	80.9	花を使った修景空間の視察調査を報告することができる。	80.0			80.6	2.9
11	造園施工・管理実習Ⅰ	必修	造園緑化	60	新井	22	造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。	84.5	造園施設(竹垣、敷石、レンガ舗装など)の施工方法を習得する。	84.5	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。	87.7			85.6	3.4
12	3級造園技能検定対策実習	選択	造園緑化	45	新井	7	学科試験合格水準に達する知識を習得する。	89.3	実技試験(製作等作業試験)に関し、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。	87.9	実技試験(判断等試験)に出題される樹木を判別することができる。	87.9			88.3	3.6
13	商品動向リサーチⅠ	必修	マーケティング	15	井上	22	春夏期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。	77.7	図鑑やインターネットを利用した植物の調べ方を知る。	87.3	植物の写真の撮り方の基礎を知る。	85.0			83.3	3.0
14	植物管理基礎実習Ⅰ	必修	植物管理	60	前田	22	春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	85.0	春・夏期における灌水技術を習得する。	85.0	春・夏期における温室の管理技術を習得する。	85.0			85.0	3.3
15	Global Communication in HorticultureⅠ	必修	国際性	30	大脇	22	英語の基本的な文法を反復練習にて習得する。	80.9	自己紹介、挨拶等スモールトークができる。	82.3	他国について学ぶ中で、自国や自身への理解を深める。	79.5	英文から必要な情報を読み取れる。	75.5	79.5	3.0

<令和5年度前期 マイスター科2年生>

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度平均
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	生産マネージメント実習Ⅱ	選択	花き生産流通	120	白田	5	施肥設計や品目、品種設定ができる。	82.0	温室の栽培管理ができる。	90.0	1年生指導を通じてリーダーシップを理解する。	82.0	作業内容のふり返りと必要な改善項目の報告ができる。	80.0	83.5	3.0
2	生産課題解決演習Ⅱ	選択	花き生産流通	60	白田	5	適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。	83.0	課題研究を通じて課題解決力を身につける。	81.0	課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。	81.0			81.7	3.2
3	基礎育種学	選択	花き生産流通	30	前田	9	植物の遺伝の仕組みを理解する。	85.0	様々な育種の方法について知る。	83.8	交配育種に必要な基本的知識および技術を習得する。	83.8			83.8	3.3
4	フラワー装飾演習	選択	花き装飾	60	林	9	空間を花で飾る技術を習得する。	86.1	花き装飾の歴史的かつ文化的行事などの知識を習得する。	85.0	花の原価について知る。	83.9	フローリストとしての発想力や応用力を習得する。	83.9	84.7	3.3
5	ウェディング実習	選択	花き装飾	30	林	8	デザイン力、提案力、応用力を習得する。	80.0	ウエディング装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。	83.8	チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。	86.3	ウエディングの基礎知識を習得する。	86.3	84.1	3.4
6	フューネラル実習	選択	花き装飾	30	林	8	デザイン力、提案力、応用力を習得する。	82.5	フューネラル装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。	82.5	チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。	87.5	フューネラルの基礎知識を習得する。	85.0	84.4	3.3
7	装飾技術スキルアップ実習	選択	花き装飾	45	吉田	8	フローリストとしての発想力や応用力を習得する。	82.5	フローリストとしてフラワーデザインに関する知識を習得する。	83.8	課題に取り組むことでフローリストとしての作業所作を習得する。	87.5			84.6	3.4
8	2級園芸装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	林	1	2級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。	95.0	2級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。	85.0	実技試験内容を繰り返し制作練習することで装飾技術を習得する。	85.0			88.4	3.0
9	2級フラワー装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	60	吉田	8	2級フラワー装飾技能検定の合格水準の技術力を習得する。	85.0	学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。	88.8	実技試験練習を繰り返すことでフローリストとしての作業所作を習得する。	86.3			86.7	3.5
10	花修景実習Ⅲ	選択	造園緑化	30	新井	14	有料公園における花修景の植栽計画・年間管理を理解する。	86.4	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。	87.9					87.1	3.4
11	造園施工・管理実習Ⅲ	選択	造園緑化	60	新井	9	造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。	87.2	造園施設（張芝、石積み、園路、景石など）の施工方法を習得する。	86.1	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。	87.2			86.9	3.1
12	造園総合実習	選択	造園緑化	90	新井	8	造園空間の計画・設計・施工までの一連の作業の流れを習得する。	88.8	1年次の各種授業での技術を各論として学んだ成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。	88.8	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。	87.5			88.3	3.1
13	2級造園技能検定対策実習	選択	造園緑化	45	新井	5	学科試験の合格水準に達する知識を習得する。	85.0	実技試験（製作作業試験）に関し、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。	89.0	実技試験（判断等試験）に出題される樹木を判別することができる。	85.0			86.3	3.2
14	造園工学・施工論	選択	造園緑化	30	新井	8	2級造園施工管理技術検定の第一次検定について合格水準に達するよう知識を習得する。	82.5							82.5	3.0
15	SNSプロモーション	選択	マーケティング	30	井上	7	YouTubeの仕組みを理解する。	83.6	ビデオエディター等の動画作成アプリを使って動画編集できる。	82.1	YouTubeにプロモーション動画（作品）をアップロードする。	77.9			81.2	3.1

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
16	キャリアデザインⅡ	必修	マネジメント	30	佐藤	21	金銭面での具体的な生活設計を理解する。	83.1	採用試験（面接）への対応を知る。	80.5	建設的なディスカッションを体感し、協働の必要性を理解する。	83.5	労働法、給与、租税法（主に所得税）、資産形成に関する知識を理解する。	83.5	82.5	3.1
17	基本簿記	選択	マネジメント	30	佐藤	11	簿記の基礎を理解する。	82.0	仕訳、転記、試算表作成を行える。	82.0	伝票処理を理解する。				81.3	3.2
18	園芸文化研修	選択	文化・利用	30	今西	18	日本の園芸・庭園文化を体感し、自らの見識を養い理解する。	85.6	これまでに学んできた「花と緑」に関する知識や技能と園芸・庭園文化との繋がりを理解する。	86.1	園芸・造園の社会的意義を知り、長い歴史に培われて来た文化的景観を理解する。	86.7			86.1	3.4
19	盆栽実習	選択	文化・利用	15	福本	14	盆栽の歴史について知る。	83.6	盆栽の自然観と精神性に触れる。	84.3	盆栽の剪定、針金掛け、植え替えを習得する。	85.7			84.5	3.4
20	植物管理基礎実習Ⅲ	必修	植物管理	30	前田	21	春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	86.0	春・夏期における灌水技術を習得する。	84.0	春・夏期における温室の管理技術を習得する。	85.0	上記の知識・技術を他者に伝達する能力を身につける。	83.6	84.6	3.2
21	海外視察研修	必修	国際性	90	吉田	21	チェルシーフラワーショウはじめ英国の有名庭園や花き流通動向、最新のフラワーデザインを知る。	83.6	研修テーマを設定し、テーマに応じた調査ができる。	84.5	海外体験を通して国際感覚を養う。	79.0	研修内容をとりまとめ、報告することができる。	83.6	82.8	3.4
22	インターンシップⅡ	選択	就業体験	60	各C担当教員	20	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	85.5	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	86.1	研修を振り返り、研修内容をとりまとめることができる。	84.5			85.4	3.2

1 到達度

- シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標^(※)に対して、学生がどの程度習得できたかを自己評価したもの。
- (※) 到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。
- 学生は、以下の【評価基準】を基に、S・A・B・C・Dの5段階で到達目標ごとに自身の到達度評価を実施。
集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出。
- 『到達度平均』は、到達目標ごとの受講者全体における到達度平均値。
- 『到達度総平均』は、授業ごとの「到達度平均」の平均値。

【評価基準】

100	90	80	70	60	0
代表値	95	85	75	65	55
	S	A	B	C	D
	完全に習得できた	十分に習得できた	習得できた	概ね習得できた	習得できなかった

2 授業満足度

- 下記の観点で、学生が総合的に判断した満足度。

<ul style="list-style-type: none"> 授業のテーマは明確に示されていたか 授業の難易度は適切であったか 教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか 質問や相談ができるよう配慮されていたか 授業を通して、新しい知識や技術を得られたか

- [十分満足(4)・満足(3)・普通(2)・不満(1)]の4段階で評価。
- 集計時は、受講者全体の満足度平均を算出。

4	3	2	1
十分満足	満足	普通	不満

<令和5年度後期 マイスター科1年生>

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度平均
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	イベント販売実習	必修	花き生産流通	15	井上	22	商品企画、商品開発、販売、分析の一連の活動を理解する。	86.8	商品ディスプレイ、POP作成など、イベント販売における店舗デザインを学ぶ。	87.7	接客時における接客やマナーを実践的に体得する。	89.5	イベントにむけて共働する事によるリーダーシップ、フォローシップを学ぶ。	85.5	87.4	3.7
2	生産マネジメント実習Ⅰ	選択	花き生産流通	60	白田	3	施肥設計や品目、品種設定ができる。	81.7	温室の栽培管理ができる。	85.0	チームワークの重要性を理解する。	95.0	実習の課題をみつけ、改善することができる。	85.0	86.7	3.3
3	生産課題解決演習Ⅰ	選択	花き生産流通	45	白田	3	適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。	91.7	課題研究を通じて課題解決力を身につける。	91.7	課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。	85.0			89.4	4.0
4	園芸装飾実習Ⅱ	選択	花き装飾	30	吉田	19	秋から春にかけての植物の管理方法を理解する。	84.5	バルコニープランター・ハンギングバスケットの開花調整、メンテナンス方法を習得する。	86.6	室内園芸装飾作品における基本的テクニックの習得をする。	83.4	デザイン～施工～植物管理～撤去を、グループで行う事でコミュニケーション力と協調性を習得する。	91.1	85.1	3.2
5	フラワーデザイン実習Ⅱ	選択	花き装飾	60	林	22	自ら花材を選びイメージを形にできる。	82.1	季節の商品が制作できる。	85.0	花に関わる季節行事を知る。	89.3			85.5	3.6
6	花修景実習Ⅱ	必修	造園緑化	30	相田	7	植物の植栽管理を通じて、継続的に記録することができる。	85.0	花壇の計画ができる。	86.9	一年草、球根、宿根草、樹木などの名前や管理方法を理解することができる。	81.2			84.4	3.0
7	造園施工・管理実習Ⅱ	選択	造園緑化	60	新井	7	造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。	87.9	造園施設(景石、延べ段など)の施工方法を習得する。	89.3	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。	90.7			89.3	3.7
8	測量実習	選択	造園緑化	30	新井	7	測量機器の操作方法、測量データの整理方法を習得する。	87.9	平板測量、水準測量、地形測量の技術を習得する。	85.0	設計図から現場に位置出しができ、丁張を設置することができる。	83.6			85.5	3.3
9	製図実習	選択	造園緑化	30	新井	7	造園に関わる基本的な設計・図面に関する事柄を理解できる。	89.3	平面図や立面図など造園に関わる図面を描ける。	87.9	スケール感を身につける。	87.9			88.3	3.4
10	CAD製図実習	選択	造園緑化	30	相田	22	CADによる2D図面が作成できる。	89.3	CADによる3D図面が作成できる。	87.9					88.6	3.0
11	商品動向リサーチⅡ	必修	マーケティング	15	井上	5	秋冬期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。	80.9	MSエクセルを使った画像情報を含むデジタルデータベースを完成する。	90.0					85.5	3.4
12	商品開発演習	選択	マーケティング	30	井上	22	園芸業界での商品開発の実際を知る。	87.0	SWOT分析ができる。	93.0	学校での学習活動の中から、アイテムを見つけ商品開発に挑戦する。	87.0			89.0	3.8
13	キャリアデザインⅠ	必修	マネジメント	30	佐藤	22	自身の現在の『社会人基礎力』を知り、伸ばす努力を行えるようになる。	85.9	自らの勤労観や職業観を養う。	85.0					85.5	3.3
14	起業・経営シミュレーション	必修	マネジメント	30	佐藤	20	経営学の基本的な知識を習得する。	85.0	企業、組織の経営について、経営学の基本的な理論を用いて考えることができる。	83.6					84.3	3.3
15	園芸色彩学	選択	文化・利用	30	相田	13	色彩学の基本的な知識と花と緑における色彩について理解する。	85.5	花き装飾における色彩について理解する。	85.0	造園緑化における色彩について理解する。	83.0			84.5	3.3

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度平均
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
16	いけばな	選択	文化・利用	15	片倉	15	いけばなの歴史を知る。	85.0	いけばなの基本的実技を習得する。	85.77					85.4	3.2
17	園芸福祉論・実習	選択	文化・利用	30	相田	22	福祉施設における園芸福祉プログラムを立案することができる。	81.7	福祉施設における園芸福祉プログラムを立案することができる。	81.67	地域における園芸福祉プログラムを立案することができる。	82.33			81.9	2.9
18	植物管理基礎実習Ⅱ	必修	植物管理	30	前田	22	秋・冬期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	87.7	秋・冬期における灌水技術を習得する。	87.7	秋・冬期における温室の管理技術を習得する。	87.7			87.7	3.5
19	Global Communication in Horticulture II	必修	国際性	30	大脇	22	旅先での基本的な英会話を習得する。	80.9	イギリスの文化、風習を知る。	83.2	自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化について英語で情報発信できる。	79.5			81.2	3.3
20	インターンシップⅠ	必修	就業体験	120	各C担当教員	22	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	88.2	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	89.5	研修内容をとりまとめ、報告することができる。	89.1			88.9	3.8

1 到達度

・シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標^(※)に対して、学生がどの程度習得できたかを自己評価したものを。

(※) 到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。

・学生は、以下の【評価基準】を基に、S・A・B・C・Dの5段階で到達目標ごとに自身の到達度評価を実施。

集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出。

・『到達度平均』は、到達目標ごとの受講者全体における到達度平均値。

・『到達度総平均』は、授業ごとの「到達度平均」の平均値。

【評価基準】

	100	90	80	70	60	0
代表値	95	85	75	65	55	
	S	A	B	C	D	
	完全に習得できた	十分に習得できた	習得できた	概ね習得できた	習得できなかった	

2 授業満足度

・下記の観点で、学生が総合的に判断した満足度。

<ul style="list-style-type: none"> ・授業のテーマは明確に示されていたか ・授業の難易度は適切であったか ・教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか ・質問や相談ができるよう配慮されていたか ・授業を通して、新しい知識や技術を得られたか
--

・[十分満足(4)・満足(3)・普通(2)・不満(1)]の4段階で評価。

・集計時は、受講者全体の満足度平均を算出。

4	3	2	1
十分満足	満足	普通	不満

<令和5年度後期 マイスター科2年生>

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度平均
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	スマート農業研修	選択	花き生産流通	120	白田	7	スマート農業の基本的知識を習得する。	82.1	施設園芸の環境制御の基礎知識を習得する。	80.7					81.4	3.2
2	フラワービジネス演習	選択	花き装飾	60	吉田	9	花のビジネスモデルを知る。	88.3	フラワービジネスにおけるコスト、マーケティングについて理解する。	87.2					87.8	3.8
3	造園横算・施工管理実習	選択	造園緑化	30	新井	7	造園工事に関する基礎知識と設計横算、見積、施工管理（出来形、出来高、品質管理、写真管理）を理解し、横算、見積り、現場施工管理ができるようになる。	75.0							75.0	3.0
4	公園・緑化概論	選択	造園緑化	60	今西	9	都市公園・都市緑化に関する基本法令、制度についての基礎知識を習得する。	82.5	都市環境の改善及び都市の防災性の向上等、今日の都市が直面している課題の解決に資する都市公園・緑化のあり方、都市公園における適切な維持管理等について知識や知見を習得する。	86.3					84.4	3.4
5	植物ビジネス論	選択	マネジメント	30	井上	11	各分野の最新の事例や秀逸な取り組みを理解する。	85.9	専門分野に関係の深い講師と人的ネットワークを構築する。	84.1					85.0	3.3
6	インターンシップⅢ	必修	就業体験	30	各コース教員	20	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を知り実践できる。	88.5	受入れ企業の事業活動を理解し、研修で得た気づきや学びを振り返る力を習得する。	89.5	研修内容をとりまとめ、報告することができる。	87.5			88.5	3.6
7	卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	必修	課題解決	45	白田	5	個別課題のテーマを設定することができる。	85.0	調査・研究を行うことができる。	81.0	調査・研究結果の内容をまとめることができる。	81.0	論文要旨を発表することができる。	81.0	82.0	3.0
8	卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	必修	課題解決	30	吉田	7	各自の課題設定に基づき、計画を立て、制作を繰り返すことで実践的な即戦力となる技術を習得することができる。	92.1	制作物の制作過程を記録に残す。	95.0	プレゼンテーションをすることができる。	93.6			93.6	4.0
9	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	必修	課題解決	60	相田	8	課題に取り組み、解決を図る。	88.8	その過程や結果について記録を残す。	86.3	プレゼンテーションをすることができる。	88.8			87.9	3.0

資料3-2 主な学校行事等

(令和5年度)

時 期	行 事 名	備 考
4月1日(土)～4月4日(火)	春季休業	
4月5日(水)	前期授業開始日(2年)	～9月26日(火) 前期授業最終日
4月11日(火)	入学式	入学生22名
4月17日(月)～4月28日(金)	フランス人研修生受け入れ	
4月26日(水)	企業説明会	出展企業 15社
5月1日(月)～5月4日(木・祝)	ゴールデンウィーク学校見学会	参加者10名(別途同伴者等13名)
5月14日(日)～5月20日(土)	国内視察研修	海外視察研修の代替研修
6月1日(木)	国内視察研修報告会	マイスター科2年生(オンライン)
6月2日(金)	学校関係者評価委員会	オンラインにて実施
6月10日(土)	なんじゃ祭	
	学校見学会	参加者17名(別途同伴者等14名)
7月13日(木)	教育課程編成委員会(1回目)	
7月26日(水)～8月31日(木)	夏季休業	集中講義実施
7月30日(日)～7月31日(月)	オープンキャンパス	参加者27名(別途同伴者等18名)
9月12日(火)	緑の学園	参加者 県内農業系高等学校7校2年生29名
9月23日(日)～25日(月)	秋の学校見学会	参加者18名(別途同伴者等12名)
9月26日(火)	花と緑の意見交換会	卒業生6名と1,2年生の意見交換
10月1日(日)	後期授業開始日	～2月26日(月) 後期授業最終日
10月1日(日)～10月23日(月)	インターンシップⅢ	15日間以上の実習 マイスター科2年生21名
10月18日(水)	入学試験	マイスター科(推薦入試Ⅰ・Ⅱ)志願者21名
11月1日(水)	インターンシップⅢ報告会	マイスター科2年生(オンライン)
11月3日(金・祝)	オープンキャンパス	参加者3名(別途同伴者等2名)
11月4日(土)～11月19日(日)	インターンシップⅠ	10日間以上の実習 マイスター科1年生22名
11月16日(木)	教育課程編成委員会(2回目)	
11月22日(水)	入学試験	マイスター科(一般入試第1回)志願者4名、 外国人留学生志願者1名
11月30日(木)	インターンシップⅠ報告会	マイスター科1年生
12月23日(土)～1月5日(金)	冬季休業	
2月7日(水)	卒業研究・卒業制作発表会	マイスター科2年生
2月16日(金)	活動成果報告会	聴講者25名(オンライン20名)
3月5日(火)	卒業式	卒業生20名
3月6日(水)～3月31日(日)	春季休業	
3月8日(金)	教員企業研修報告会	
3月16日(土)～18日(月)	春の学校見学会	参加者13名(別途同伴者等9名)

資料3-3 各種発表会・報告会 (令和5年度)

○国内視察研修発表会

◆趣 旨 新型コロナウイルス感染防止の観点から国内視察研修に切り替えて実施。
生産・装飾・造園の各コースの視点で課題を設定し、視察先での聞き取りや調査を行った結果について発表

◆日 時 6月1日(木) 9:00~16:30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室

◆内 容 マイスター科2年による研修報告

※視察先企業、ご家族等、外部関係者

Web会議アプリZoomにて視聴 13名、YouTube配信にて視聴 9名

○インターンシップⅢ報告会

◆趣 旨 本学マイスター科2年生が、就職を希望する業種での職場体験実習で学んだことを発表

◆日 時 11月1日(水) 9:00~16:30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室

※インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族等、外部関係者は

Web会議アプリZoomにて視聴 26名、YouTube配信にて視聴 4名

○インターンシップⅠ報告会

◆趣 旨 本学マイスター科1年生が、就職を希望する業種での職場体験実習で学んだことを発表

◆日 時 11月30日(木) 9:00~16:30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室

※インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族等、外部関係者

Web会議アプリZoomにて視聴 18名、YouTube配信にて視聴 6名

○卒業研究・卒業制作発表会

◆趣 旨 マイスター科2年生が2年間で学んだ知識と技術を発表

◆日 時 2月7日(水) 9:00~16:30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室

※ご家族等会場聴講5名、連携研究先企業、インターンシップ受入れ先企業・団体、

ご家族、外部関係者等 Web会議アプリZoomにて視聴21名、YouTube配信にて視聴6名

○活動成果報告会

◆趣 旨 花と緑の実践技術の修得に向けて、カリキュラムをどのように組み立て授業で伝えているかなどの教育姿勢を報告するとともに、学生や学校が取り組んでいる技能五輪やボランティアなど学外活動について、本年度の教育の成果を報告する。

◆日 時 2月16日(金) 13:15～16:30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修教育棟研修室

◆内 容

- ・1年間の振り返り、取組報告
(新たな授業、インターンシップ、技能五輪大会、企業・市町村連携、学生ボランティア活動、教員企業研修、生涯学習講座)
- ・卒業生の活躍
勝みゆき氏「オーストラリアの園芸・造園業界で働く」
江崎慎吾氏「日比谷公園ガーデニングショー2023」

※インターンシップ先企業、ご家族等、外部関係者はWeb会議アプリZoomにて視聴
視聴者数 19名

○教員企業研修報告会

◆趣 旨 教員8名が、花と緑の業界に関わる企業や教育機関等で研修した成果及び得られた知見を発表

◆日 時 3月8日(火) 9:00～14:35

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修教育棟研修室

※研修先、県関係機関等、外部関係者はWeb会議アプリZoomにて視聴 視聴者数10名

資料3-4 職場体験実習（インターンシップ）実施状況（令和5年度までの10年間）

各年度におけるインターンシップⅠ～Ⅲの延べ派遣先数

年 度	学 生	県 内	県 外	計
平成26年度	1年生	10	14	24
	2年生	13	16	29
	計	23	30	53
平成27年度	1年生	16	12	28
	2年生	17	17	34
	計	33	29	62
平成28年度	1年生	18	10	28
	2年生	16	15	31
	計	34	25	59
平成29年度	1年生	13	6	19
	2年生	24	22	46
	計	37	28	65
平成30年度	1年生	19	7	26
	2年生	23	24	47
	計	42	31	73
令和元年度	1年生	23	7	23
	2年生	15	42	57
	計	31	49	80
令和2年度	1年生	16	1	17
	2年生	21	24	45
	計	37	25	62
令和3年度	1年生	15	6	21
	2年生	18	17	35
	計	33	33	56
令和4年度	1年生	13	10	23
	2年生	14	26	40
	計	27	36	63
令和5年度	1年生	15	7	22
	2年生	12	40	52
	計	27	47	74
履修体系	必修科目 インターンシップⅠ・・・1年後期 10日間以上の実習 Ⅲ・・・2年後期 15日間以上の実習 選択科目 インターンシップⅡ 1～2年(春季・夏季休暇等)7日間以上の実習			

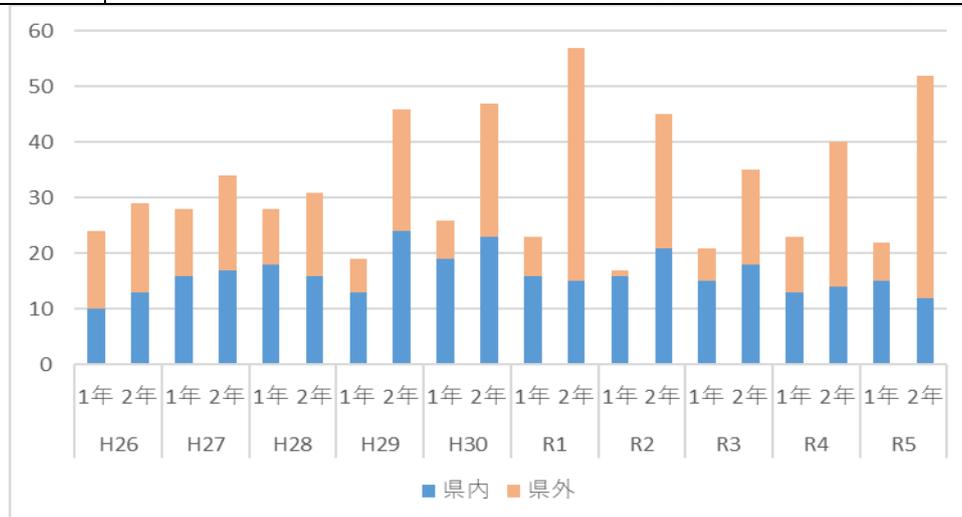


図2 職場体験（インターンシップ）の状況

資料3-5 国内視察研修 (令和5年度)

月日	視察先等
5月14日(日)	出発 ⇒ 北海道 着 大雪森のガーデン(北海道上川町)
5月15日(月)	上野ファーム(北海道旭川市) 風のガーデン(北海道富良野市)
5月16日(火)	十勝千年の森(北海道上川郡清水町) オープンガーデン 関根邸千恵子のバラ園(北海道帯広市) 原田邸フレグランスガーデン(北海道帯広市) 影山邸心をリラックスできる庭(北海道影山町)
5月17日(水)	真鍋庭園(北海道帯広市) 十勝ヒルズ(北海道中川郡幕別町) 六花の森(北海道河西郡中札内村) 紫竹ガーデン(北海道帯広市)
5月18日(木)	えこりん村銀河庭園(北海道恵庭市) はなふる(北海道恵庭市) 恵み野地区商店街(北海道恵庭市) サンガーデン(北海道恵庭市) 滝野すずらん丘陵公園(北海道札幌市)
5月19日(金)	札幌花き地方卸売市場(北海道札幌市) 班別行動(北海道札幌市内)
5月20日(土)	イコロの森(北海道苫小牧市) 北海道 ⇒ 帰着

資料3-6 特別講座の実施状況

実施日	講師	講座内容	参加者
7月3日 (月)	有限会社 LIBRA 代表取締役 平野 裕加里氏	「本当に伝わる話し方」 アナウンサー・プロデューサーの立場から、「わかりやすく、簡潔に、印象深く」話すコツについて	マイスター科1年22人、教職員10人
7月25日 (火)、 2月21日 (水)	(一社)日本造園建設業協会 造園領域発展戦略委員会 女性活躍推進部会長 酒井一江氏 地域リーダー 小立 亮氏	「造園業における働き方」 社会人として造園人として特に女性造園家としてどう仕事に向き合って生きていくか等	7/25 造園緑化コース2年8人、花き生産コース2年3人、教職員9人 2/21 造園緑化コース1年7人、教職員6人

実施日	講師	講座内容	参加者
9月26日 (火)	岐阜県国際交流員 フェラント クロエ氏	「フランスについて」 国外から見た日本の印象や 現状、フランスにおける公 園や花飾りなど、花と緑に 関する海外事情やフランス 文化・風習などについて	マイスター科2年 21人、1年22人、教職 員15人
10月24日 (火)	スクールカウンセラー 柳澤 博紀氏	ストレスセミナー	マイスター科2年1人、 教職員10人

資料4-1 進路の状況 (令和5年度卒業生) (令和6年3月 順不同)

分類	就職先	本社等 所在地	人数	備考 (勤務地)
生産法人等	有限会社ソメノグリーンファーム	茨城県	1	茨城県
市場流通棟等	岐阜生花市場協同組合	岐阜県	1	岐阜県
生花店・園芸店・装 飾	有限会社桜が丘フラワー(アソジ [®] ェリックフロー)	宮城県	1	宮城県
	株式会社千正園	愛知県	1	愛知県
	株式会社光花	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社プー・コニユ	愛知県	1	愛知県
	株式会社美咲	愛知県	1	愛知県
	株式会社ローズガーデン	長野県	1	長野県
造園設計・造園施工 管理	株式会社小林造園	京都府	1	京都府
	株式会社辻井造園	滋賀県	1	滋賀県
	株式会社広野園	静岡県	1	静岡県
	村繁造園土木株式会社	愛知県	1	愛知県
公園管理・観光	株式会社 牧歌コーポレーション	岐阜県	1	岐阜県
公務員・団体職員	一般財団法人 公園財団	東京都	1	愛知県
	公益財団法人浜松市花みどり振興財団	静岡県	1	静岡県
進学	中部大学	愛知県	1	
	東京通信大学	東京都	1	
未定			2	
計			20	

資料 4-2 卒業時の進路の状況（令和5年度卒業生までの累計）

進路内訳	進路先内訳	人 数 (人)		割 合 (%)		
		県内	県外	県内	県外	
起 業	起業(就農)	1	1	0	100	0
	起業(園芸)	1	1	0	100	0
	小 計	2	2	0	100	0
就 職	生産法人等	28	14	14	50	50
	市場流通等	5	2	3	40	60
	生花店・園芸店・装飾	149	60	89	40	60
	造園設計・施工	74	26	48	35	65
	公園管理/観光	27	10	17	37	63
	福祉関係等	3	3	0	100	0
	公務員・団体職員	28	12	16	43	57
	農業高校実習助手	4	4	0	100	0
	ボランティア活動	3	2	1	67	33
	その他	4	2	2	50	50
	小 計	325	135	190	41	59
進 学	進学	13	7	6	54	46
	研修(海外)	3	0	3	0	100
	小 計	16	7	9	47	53
未 定		12				
合 計		355				

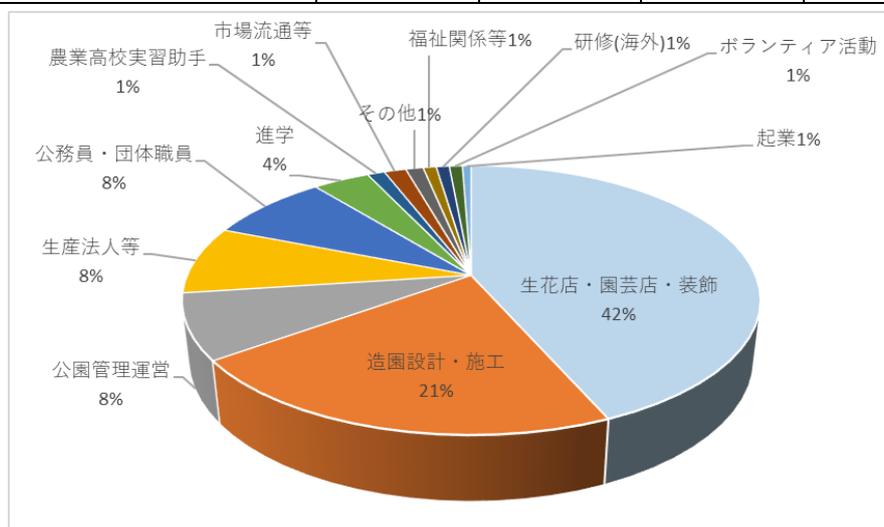


図1 卒業時の進路の状況

資料4-3 資格の取得状況 (令和5年度)

※ () 内はR4実績

資格の名称 (認定機関)		受検者数	合格者数	合格率
技能検定 (厚生労働省)	3級 造園 学科	9名 (4)	8名 (3)	88% (75)
	” ” 実技	8名 (4)	8名 (4)	100% (100)
	2級 造園 学科	4名 (6)	3名 (5)	75% (83)
	” ” 実技	4名 (5)	1名 (5)	25% (100)
	3級 室内園芸装飾 学科	10名 (4)	10名 (4)	100% (100)
	” ” 実技	10名 (4)	10名 (4)	100% (100)
	2級 室内園芸装飾 学科	1名 (0)	1名 (0)	100% (-)
	” ” 実技	1名 (0)	1名 (0)	100% (-)
	3級 フラワー装飾 学科	7名 (4)	7名 (4)	100% (100)
	” ” 実技	7名 (6)	7名 (6)	100% (100)
2級 フラワー装飾 学科	9名 (5)	9名 (5)	100% (100)	
” ” 実技	8名 (5)	8名 (5)	100% (100)	
施工管理技術検定 (国土交通省)	2級 造園 学科 ※在学中は学科のみ受検可	10名 (6)	5名 (6)	50% (100)
初級園芸福祉士		14名 (7)	14名 (6)	100% (86)
池坊 入門 初伝		13名 (12)	13名 (12)	100% (100)
岐阜県農薬管理指導士		1名 (5)	1名 (5)	100% (100)
小型車両系建設機械運転※		10名 (-)	10名 (-)	100% (-)
刈払機取扱作業員※		-名 (13)	-名 (13)	-% (100)
フォークリフト運転技能		0名 (1)	0名 (1)	-% (100)
ビオトープ管理士		0名 (0)	0名 (0)	-% (-)
伐木等の業務 (特別教育)		0名 (0)	0名 (0)	-% (-)
玉掛け技能		0名 (0)	0名 (0)	-% (-)
小型移動式クレーン運転技能		0名 (0)	0名 (0)	-% (-)
日商簿記検定 3級		0名 (0)	0名 (0)	-% (-)
エクステリアプランナー 2級		0名 (1)	0名 (1)	-% (100)

※講習会が隔年で実施される

資料4-4 コンペティション等参加の状況 (令和5年度)

名称	開催月	参加者
第61回技能五輪全国大会	11月	マイスター科2年4名
第19回愛知県造園デザインコンクール	12月	マイスター科2年1名
第50回全国造園デザインコンクール	1月	マイスター科2年1名 マイスター科造園緑化コース2年 (8名による団体 2作品参加) マイスター科造園緑化コース1年 (7名による団体参加)
第11回岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会	1月	マイスター科花き生産コース2年 2名

資料4-5 表彰等の状況 (令和5年度)

行事名 (部門等)	表彰の内容	受賞者の学科・学年
第44回岐阜県職業能力開発促進大会	◆岐阜県職業能力開発協会長賞 ・ 2級フラワー装飾 ・ 2級園芸装飾	マイスター科2年1名 マイスター科2年1名
第61回技能五輪全国大会 (造園)	◆敢闘賞	マイスター科2年2名
第11回岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会	◆優秀発表賞	マイスター科2年1名
技能競技大会成績優秀者の岐阜県職業能力開発協会会長表彰	◆岐阜県職業能力開発協会長賞 ・ 第61回技能五輪全国大会	マイスター科2年2名
第50回全国造園デザインコンクール(一般社団法人日本造園建設業協会)	◆佳作 大学・一般の部 実習作品部門	マイスター科造園緑化コース2年(8名)
第19回造園デザインコンクール(一般社団法人愛知県造園建設業協会)	◆佳作 住宅庭園部門	マイスター科2年1名

資料5-1 奨学金等の状況

(1) 奨学金 (令和5年度までの10年間)

支援団体	大垣共立銀行	十六銀行	岐阜花き流通センター農業協同組合	日本学生支援機構		
支援対象	マイスター科1年生	マイスター科1年生	マイスター科1年生(組合員の子弟)	全学生		
採用人数	1名以内	1名以内	1名以内	日本学生支援機構の基準による選考		
支援方法	給付	給付	給付	貸与(無利子)	貸与(有利子)	給付
支援金額	年間55,800円	年間55,800円	年間55,800円	自宅:月額2万、3万、4.5万円から選択 下宿:月額2万、3万、4万、5.1万円から選択	月額2~12万円のうち1万円単位で選択	<第I区分> 自宅29,200円 下宿66,700円 <第II区分> 自宅19,500円 下宿44,500円 <第III区分> 自宅9,800円 下宿22,300円
支援団体	大垣共立銀行	十六銀行	岐阜花き流通センター農業協同組合	日本学生支援機構		
支援期間	2年間	2年間	2年間	2年間	2年間	2年間
給付実績						
H26年度	1名	1名	該当者なし	2名	4名	—
H27年度	1名	1名	該当者なし	0名	2名	—
H28年度	1名	1名	該当者なし	0名	3名	—
H29年度	1名	1名	該当者なし	3名	2名	0名
H30年度	1名	1名	該当者なし	4名	5名	0名
R1年度	1名	1名	該当者なし	1名	1名	1名
R2年度	1名	1名	該当者なし	1名	4名	5名
R3年度	1名	1名	該当者なし	1名	3名	0名
R4年度	1名	1名	—※	1名	1名	5名
R5年度	1名	1名		3名	2名	1名
延べ人数	20名	20名	4名	25名	48名	12名

※日本学生支援機構の奨学金は、申請の時期により支援期間が2年間より短くなる場合がある

※岐阜花き流通センター農業協同組合の奨学金は令和3年度で廃止

支援団体 ・個人	昭和造園土木 株式会社	I M A
支援対象	マイスター科 1年生	マイスター科 1年生
採用人数	1名以内	1名以内
支援方法	給付	給付
支援金額	年間60,000円	年間50,000円
支援期間	2年間	2年間
給付実績 R5年度	1名	1名

(2) 学生支援金 (寄附を受けた令和元年度から令和5年度までの実績)

支援方法	企業等から受けた寄附を活用し、支援対象者へ給費	
支援対象	1,2年生	
支援対象者 及び 一人当たり 上限額	① 学業への意欲が高いと認められる者	25,000円
	② 海外視察研修への参加者	50,000円
	③ 資格検定の合格者	25,000円
	④ 専門分野の全国大会参加者	100,000円
	⑤ その他学長が認める者	50,000円

年度	R1	R2	R3	R4	R5
寄附額 (寄附者)	200万円 (株)岐阜造園	200万円 (株)岐阜造園	100万円 (株)岐阜造園	100万円 (株)岐阜造園 5万円 (ニッポー工業(株))	100万円 (株)岐阜造園
学生への 給費額	1,999,700円 延べ159名	1,994,400円 延べ146名	999,980円 延べ141名	1,049,180円 延べ158名	999,098円 延べ125名

(3) 就農準備資金 (制度開始から令和5年度までの実績)

(平成24年度から令和3年度までは、農業次世代人材投資資金)

支援団体	(一社)岐阜県農畜産公社 他
支援対象	就農を予定している学生
支援方法	給付
支援金額	150万円/年
支援期間	最長2年間
本校における認定件数	H24年度 0件 H25年度 2件 (岐阜県、福井県※)

	H26年度 2件（岐阜県、愛知県※）
	H27年度 1件（岐阜県）
	H28年度 0件
	H29年度 0件
	H30年度 0件
	R元年度 0件
	R2年度 0件
	R3年度 1件（岐阜県）
	R4年度 0件
	R5年度 0件

※）認定及び給付は学生の出身県で行われる

（４）ぎふ農業経営者育成発展支援事業（制度開始から令和5年度までの実績）

支援団体	県内市町村
支援対象	就農を予定している学生
支援方法	給付
支援金額	100万円以内/年
支援期間	最長1年間
本校における認定件数	R4年度 1件（七宗町） R5年度 0件

資料5-2 寄付金、寄付物品（令和5年度）

寄付者	寄付金、寄付物品	時期
株式会社岐阜造園	1,000千円	令和5年5月
ヤハギ緑化株式会社	近江石 1t、トラキアストーン8m ² 御浜砂利8袋	令和5年9月
横山直樹	新版クリスマスローズ 1冊	令和5年12月

資料5-3 休学者・退学者数、進級者数（令和5年度）

休学者3名・退学者4名、進級者22名/22名中

資料5-4 卒業生及び同窓会との連携 (令和5年度)

連携実績の具体的内容	人数、回数等
・アカデミー同窓生フェイスブック及びインスタグラムにて、来校した卒業生の近況、本校の行事やトピックス情報を発信	発信数：フェイスブック 65回、インスタグラム 64回
・非常勤講師への就任	卒業生 6人
・「企業説明会」(4/26)において、卒業生が企業を代表して参加し、企業概要、仕事のやりがいについて説明	卒業生 3人
・同窓会役員会(7/15)において、開学20周年記念アルバム制作打合せ	卒業生 4人
・「花と緑の意見交換会」(9/26)と題し、企業等で活躍する卒業生が、1、2年生に向けて企業の概要、仕事のやりがいについて説明、意見交換	卒業生 7人
・「同窓会総会・研修会」(10/22)を名古屋園芸で行い、卒業生が参加	卒業生 11人
・「活動成果報告会」(2/16)での講演	卒業生 2人
・「活動成果報告会」(2/16)への参加・オンライン視聴を同窓会会員に呼びかけ、卒業生が参加	卒業生 3人
・同窓会役員会(3/23)において、開学20周年記念アルバム配布等打合せ	卒業生 5人

資料6-1 施設・備品の整備改修 (令和5年度)

施設・備品名等	金額(千円)	内 容
●工事		
・温室微霧冷房加湿装置システム設置工事	2,090	8号温室に設置
・温湿度センサー取替	99	
・防油堤改修工事	414	防油堤の防水工事
・プールベンチ用電源修繕	32	
・タイマー取替修繕	33	
・庭園灯修繕	29	
・本館空調設備修繕	112	
・養液システム修繕	51	1号温室
・感知器取替修繕	88	
・プールベンチ用ポンプ修繕	38	3号温室

●備品購入(花トピア教育環境整備)		
・パソコン	213	1 台購入
・パソコンラック	126	1 台購入
・資材収納庫	1,101	3 基購入
・レジスター	68	1 式購入
・デジタルサイネージ(電子看板)	110	1 台購入
・切花用冷蔵庫	1,963	1 台購入
・ワゴン	235	2 台購入
・ペーパーラック	68	1 基購入
・小型耕耘機	211	1 台購入
・充電式草刈機	57	1 台購入
・充電スイーパー	166	1 台購入
・台車	86	2 台購入
・水鉢	87	1 個購入
・庵治水たまり石	110	2 個購入
・水盤	52	1 個購入
・アルステップ (脚立)	132	3 台購入
・仮設テント	189	2 台購入
・戸棚	48	1 台購入
・生物顕微鏡	294	1 台購入
・実態顕微鏡	174	1 台購入

資料7-1 広報活動状況 & 学生募集活動状況 (令和5年度)

(1) 広報活動状況

<p>○広報ツールによるPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内パンフレット 2,500部 ・学校案内ポスター 150部 ・学校案内チラシ 2,500部 <p><主な配布先></p> <p>県内高校、全国農業系高校、県内市町村、県内園芸・造園業者、卒業生就職先、インターンシップ先、公立図書館・植物園、県内JA 他</p>
<p>○ホームページ等の活用 3/31 現在</p> <p>ホームページにおいて、行事、授業の様子、学外活動など各種取組みを提供</p> <p><u>トピックス記事 77件</u> <u>教員ブログ 289件</u></p> <p>公式SNS (フェイスブック、インスタグラム) において各種情報を提供</p> <p><u>フェイスブック 219件</u> <u>インスタグラム 306件</u></p> <p><主な内容></p> <p>学校行事、入試概要、トピックス形式によるイベント情報、教員ブログ、生涯学習講座、キャンパスライフ、専攻コースの紹介</p>

○プレスリリース実績 (カッコ内：プレスリリース日) 全 22 件

- ・入学式 (4/6)
- ・企業説明会 (4/18)
- ・5月6月学校見学会の参加者募集 (4/14)
- ・国内視察研修報告会 (5/23)
- ・なんじゃ祭 (6/8)
- ・オープンキャンパスの参加者募集 (6/12)
- ・特別講座の開催 (6/26)
- ・生涯学習講座第3回の開催 (7/14)
- ・生涯学習講座第4回の開催 (7/21)
- ・秋の学校見学会 (8/18)
- ・緑の学園 (9/6)
- ・花と緑の意見交換会 (9/19)
- ・秋のオープンキャンパスの参加者募集 (9/26)
- ・インターンシップ報告会の開催 (10/23)
- ・インターンシップ報告会の開催 (11/17)
- ・可茂総合庁舎の花飾りを実施 (12/8)
- ・花飾りイベント「花で彩るクリスマス」 (12/12)
- ・卒業研究・卒業制作発表会 (1/22)
- ・活動成果報告会の開催 (2/9)
- ・春の学校見学会の参加募集 (2/16)
- ・卒業式 (2/27)
- ・教員企業研修報告会の開催 (3/6)

○メディアの取材等を通じて掲載・放映された本学関連行事・取組み等

(カッコ内：報道機関及び報道された日) 報道・掲載回数 34 件

- ・入学式 (日本農業新聞 4/14)
- ・園芸アカデミー学校見学会 (日本農業新聞 4/22)
- ・15社参加し企業説明会 (日本農業新聞 5/4)
- ・フジバカマ花苗定植 訪れるチョウ観光の目玉に (日本農業新聞 5/6)
- ・「バラ会議」に優雅な音色 学生がラッピングしたバラ鉢が議場に (岐阜新聞 6/1)
- ・デモガーデン学園祭に彩り (岐阜新聞 6/11)
- ・公園に花植え園児と交流 (岐阜新聞・中日新聞 6/15)
- ・花飾り (ケーブルTV 可児放映 6/21~6/28)
- ・北海道視察研修調査結果を発表 (日本農業新聞 6/23)
- ・園芸アカデミー キャンパス見学 (日本農業新聞 7/18)
- ・正しく伝える話し方を学ぶ (日本農業新聞 7/21)
- ・株式会社岐阜造園から園芸アカデミーへの寄付金受領、知事感謝状の贈呈 (中部経済新聞 8/2、岐阜新聞 8/4、建通新聞 8/4、日本農業新聞 8/16)
- ・収穫から親子でオリジナル花束 (日本農業新聞 8/12)
- ・園芸アカデミー学校見学会 (日本農業新聞 9/16)

- ・農高生と農家が交流（日本農業新聞 9/17）
- ・園芸アカデミー秋の学校見学会（日本農業新聞 10/17）
- ・技能五輪全国へ岐阜県代表激励（日本農業新聞 10/20）
- ・“技能五輪”で金メダルを！（NHK「まるっと！ぎふ」中継コーナー「ぎふライブ」10/24）
- ・就活に向けて卒業生が助言（日本農業新聞 10/25）
- ・ウェディング実習（ブーケ作成）の様子（ケーブル TV 可児放映 10/25～11/1）
- ・育てた花苗など学生が対面販売（日本農業新聞 11/17）
- ・フジバカマでポプリ作り 岐阜県関ヶ原町の休耕田（日本農業新聞 11/19）
- ・FBC 表彰式 統合先でも花壇続けて（中日新聞 11/24）
- ・就活生職場体験学習成果を発表（日本農業新聞 11/24）
- ・接客に手応え 就業体験を報告（日本農業新聞 12/19）
- ・花で飾るクリスマス（日本農業新聞 12/20）
- ・アカデミー生制作花飾り X マス彩る（日本農業新聞 12/24）
- ・ローズガーデンに実習施設（岐阜新聞 12/31）
- ・即戦力へインターン（日本農業新聞 1/3）
- ・卒業研究の成果披露（日本農業新聞 2/27）
- ・学生の活動成果報告（日本農業新聞 3/6）
- ・学校見学会も開催（日本農業新聞 3/6）
- ・学びの成果各自発揮を（日本農業新聞 3/8）
- ・卒業式（ケーブル TV 可児放映 3/13～20）

○メディア及び広報媒体を活用した学校行事予告

- ・オープンキャンパス ・日本農業新聞（7/18、10/17）
・WEB 広告（6/26～7/25、9/30～10/29）
- ・学校見学会 ・日本農業新聞（4/22、9/16、3/6）
- ・受験情報 ・動物・自然・農業・海洋・環境・バイオ・化学・造園・フラワー系をめざす人へ
- ※岐阜県広報 ・オープンキャンパス（2回）、学校見学会（8回）、入試（4回）、生涯学習（1回）

○在学生から出身高校へのメッセージ発信

本校在学生が、出身高校向けにOC，学校見学会チラシを作成しPR
22校（県内5校、県外17校）に対して、4月・6月・9月・2月に発送

○各種イベント参加による学校PR活動

10か所

- ・バラまつり大野 2023 にて、本学で生産した苗物を販売、パネル・パンフレット設置
5月13日（土）大野町バラ公園（大野町）
- ・第3回高校生花いけバトル全国選抜大会会場に本学パネル・パンフレット等を設置
5月20日（土）ぎふワールド・ローズガーデン（可児市）
- ・県産花きPRイベント「花と緑の癒し・環境フェア」において、マイクロ寄せ植え体験教室
開催会場にて、本学パンフレット等を設置
7月1日（土）イオン各務原店（各務原市）
- ・岐阜花き流通センター2023秋内覧会にて、本学と企業との共同開発商品の展示、

本学パネル・パンフレット等を設置

- 9月22日（金） 岐阜花き流通センター農業協同組合（北方町）
- ・本学で生産した切り花、鉢花、苗物を販売
- 10月29日（土）、30日（日） ぎふワールド・ローズガーデン（可児市）
- ・岐阜県農業フェスティバルにて、本学パネル・パンフレット等を設置
- 10月29日（土）、30日（日） 岐阜県庁（岐阜市）
- ・JR岐阜駅周辺賑わい創出イベント「花で彩るクリスマス」において、花かざり展示
- 12月16日（火）～25日（月） アクティブG（岐阜市）
- ・可茂総合庁舎の花飾り
- 12月13日（水）～18日（月） 可茂総合庁舎 1階ロビー
- ・第72回関東東海花の展覧会岐阜県ブースにて、本学パンフレット等を設置
- 1月26日（金）～28日（日） サンシャインシティ文化会館（東京都）
- ・「フラワーバレンタイン」において、本学学生が装飾したブーケを提供
- 2月9日（金） 県庁（岐阜市）、美濃加茂市庁舎（美濃加茂市）、
可児市庁舎（可児市）

（2）学生募集活動状況

○高等学校への募集活動

訪問校数 令和5年度 91校（県内55校、県外36校） 前年度：110校

○高校進路ガイダンスへの参加

参加回数 24回

前年度：25回

参加日	会場	実施形態	参加生徒数	対応者
5/24	岐阜農林高等学校	学校説明	2	今西
5/30	新城市商工会館	学校説明	2	佐藤
5/31	白鳥ふれあい創造館(郡上)	学校説明	3	佐藤
6/7	飛騨高山高等学校	学校説明	2	前田
6/20	誠信高等学校	進学相談	9	井上
6/21	大垣養老高等学校	学校説明	1	白田
6/29	恵那農業高等学校	学校説明	2	白田
7/14	恵那農業高等学校	学校説明	3	林
9/13	飛騨高山高等学校	分野説明	1	今西
10/11	大垣養老高等学校	学校説明	1	今西
10/23	稲沢緑風館高等学校	分野説明	11	今西
11/8	大垣養老高等学校	分野説明	6	今西
12/7	一宮起工科高等学校	分野説明	1	今西
12/18, 19	大垣養老高等学校	学校説明	7	今西
12/20	恵那農業高等学校	学校説明	3	今西
1/18	恵那農業高等学校	学校説明	3	林
1/19	新城有教館高校	職業別説明会	38	今西
1/29	岐阜市文化センター	進路相談会	2	今西
2/9	岐阜農林高等学校	職業別説明会	22	今西
3/7	じばさん三重	進路相談会	3	今西
3/11	福井農林高等学校	職業別説明会	20	今西
3/12	豊田市文化会館	進路相談会	0	今西
3/14	袋井新産業会館	進路相談会	2	今西
計 143名				

○オープンキャンパス ・内 容 学校説明、模擬授業体験、施設案内

・実施日 7月30日(日)～31日(月) 参加者27名(別途同伴者等18名)
11月3日(水・祝) " 3名(" 2名)

○学校見学会 ・内 容 学校説明、施設案内

・実施日 5月1日(月)～4日(木・祝) 参加者10名(同伴者等13名)
6月10日(土) 参加者17名(同伴者等14名)
6月19日(月) 参加者1名
6月21日(水) 参加者16名(引率2名)
7月26日(水) 参加者23名(引率3名)
9月23日(土)～25日(月) 参加者18名(同伴者等12名)
3月16日(土)～18日(月) 参加者13名(同伴者等9名)

○緑の学園

- ・趣 旨 岐阜県農業高等学校校長会及び農業大学校と連携し、進路を考える時期にある農業系高等学校の2年生を対象に農業・園芸への興味と関心を深め、就農・就業への意欲を高めることを目的として開催。
- ・実施日 9月12日(火)
- ・参加人数 2年生29名
- ・参加校 岐阜農林高等学校、大垣養老高等学校、郡上高等学校、加茂農林高等学校、阿木高等学校、恵那農業高等学校、飛騨高山高等学校
- ・内 容 学校紹介、体験学習、農業大学校・国際園芸アカデミー卒業生との交流

資料 7-2 入学試験の実施状況

令和5年度(令和6年度入学)実施状況

(令和6年3月)

学科	試験区分	試験日	試験科目	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
マイ ス タ ー 科	推薦 入試	I(県内)	10/18(水)	小論文	20名 (定員)	8	6	6
		II(県外)	10/18(水)	面接		13	13	12
	一般 入試	第1回	11/22(水)	選択科目		4	2	2
		第2回	—	小論文		—	—	—
		第3回	—	面接		—	—	—
	外国人留学生	11/22(水)	英語・小論文・面接	若干名		1	1	1
マイスター科 計					26	22	21	
研究生		2/15(水)	面接	若干名	0	—	—	
科目等履修生		—	出願書類審査	若干名	1	1	1	
合 計					27	23	22	

マイスター科入試について：

- ・選択科目は、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「生物基礎」、「農業と環境」から1科目選択
- ・第1回一般入試を実施した時点で募集定員を満たしたため、第2回及び第3回は実施していない

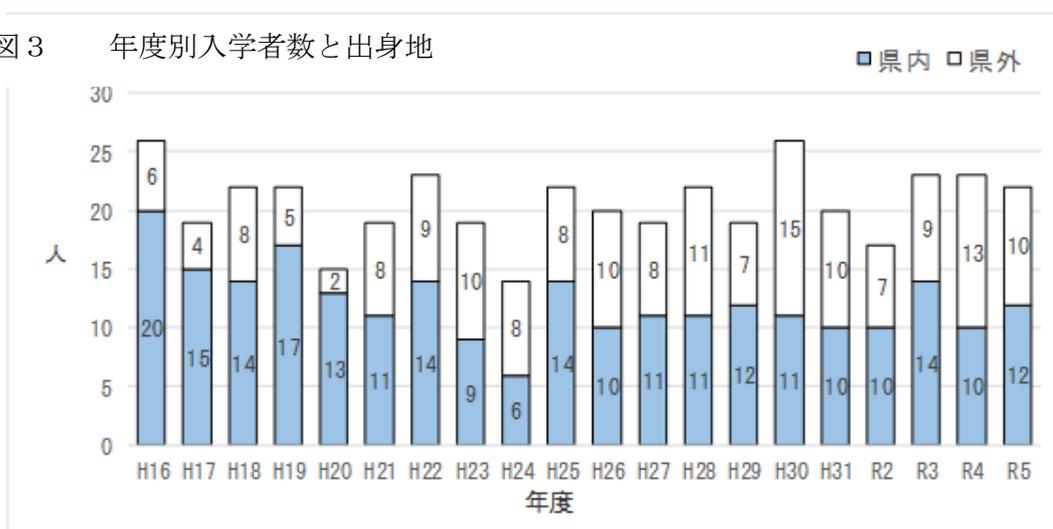
資料7-3 学生の入学・卒業状況

(令和6年3月)

(単位:人、%)

入 学 生 の 状 況							退 学 等	卒 業 生 の 状 況					
入学 年度	定 員	入学 実績	出身地 別		県内外率 (%)			卒業 実績	進路先 地域区分			県内外 率(%)	
			県内	県外	県内	県外			県内	県外	未	県内	県外
H16	20	26	20	6	77	23	4	22	12	10		55	45
H17	20	19	15	4	79	21	3	16	10	6		63	37
H18	20	22	14	8	64	36	2	20	12	8		60	40
H19	20	22	17	5	77	23	1	21	10	10	1	50	50
H20	20	15	13	2	87	13	0	15	8	7		53	47
H21	20	19	11	8	58	42	2	17	9	8		53	47
H22	20	23	14	9	61	39	2	21	6	13	2	32	68
H23	20	19	9	10	47	53	3	16	6	8	2	43	57
H24	20	14	6	8	43	57	2	12	4	8		33	67
H25	20	22	14	8	64	36	1	21	7	14		33	67
H26	20	20	10	10	50	50	2	18	8	7	3	53	47
H27	20	19	11	8	58	42	3	16	6	10		38	62
H28	20	22	11	11	50	50	0	22	9	13		45	55
H29	20	19	12	7	63	37	0	19	6	13		32	68
H30	20	26	11	15	42	58	2	24	9	15		38	62
R 1	20	20	10	10	50	50	0	20	6	14		30	70
R 2	20	17	10	7	59	41	2	15	5	8	2	38	62
R 3	20	23	14	9	61	39	3	20	6	14		30	70
R 4	20	23	10	13	43	57	3	20	4	14	2	22	78
R 5	20	22	12	10	55	45							
合計	400	412	244	168	59	41	35	355	143	200	12	42	58

図3 年度別入学者数と出身地



○**研究生** (平成23年度から受入体制を明確化)

(単位:人、%)

入 学 生 の 状 況							退 学 等	卒 業 生 の 状 況					在 校 生		
入 学 年 度	定 員	入 学 実 績	出 身 地 別		県 内 外 率 (%)			修 了 実 績	進 路 先 地 域 区 分			県 内 外 率 (%)			
			県 内	県 外	県 内	県 外			県 内	県 外	未 分	県 内	県 外		
H23		2	1	1	50	50		2		2			100		
H24		1	1		100			1	1				100		
H25		0													
H26		0													
H27		0													
H28		0													
H29		0													
H30		0													
R 1		0													
R 2		0													
R 3		0													
R 4		0													
R 5		0													
合計		3	2	1	67	33		3	1	2			33	67	

○**科目等履修生** (平成18年度から受入体制を明確化)

採用年度	人数	採用年度	人数
H18	1	H28	-
H19	-	H29	-
H20	-	H30	-
H21	2	R1	-
H22	3	R2	1
H23	-	R3	1
H24	-	R4	2
H25	-	R5	2
H26	1	R6	1
H27	-	計	14

資料 8-1

岐阜県立国際園芸アカデミー内部質保証の基本方針及び実施体制

岐阜県立国際園芸アカデミーは、本学学則第1条に掲げる目的及び使命の実現に向け、内部質保証を恒常的に機能させることを目的として、内部質保証の基本方針及び実施体制を定める。

1. 内部質保証の基本方針

本学の基本理念や教育目標に基づいて、教育研究活動その他の諸活動に関する自己点検・評価を実施し、その結果を検証し、改善に結び付けることにより、教育研究の質を継続的に向上させる。この仕組みを構築し、実質化させることを基本方針とする。

2. 内部質保証の実施体制

内部質保証を推進するための組織は、内部質保証の客観性を担保すること及び点検・評価、検証、改善の仕組みの適切化の観点から、「内部質保証推進委員会」と「自己点検・評価委員会」の2組織を置くこととする。

① 内部質保証推進委員会

自己点検・評価結果の点検、改善事項の調整、結果の公表を担い、内部質保証推進に責任を負う組織として位置付ける。

② 自己点検・評価委員会

自己点検・評価の取りまとめ、自己点検・評価報告書の作成及び改善計画、改善結果作成を行う組織とする。

「内部質保証推進委員会」及び「自己点検・評価委員会」については別に定める。

内部質保証推進委員会 委員

役職
学長（委員長）
副学長
教授
教授
教務課長

自己点検・評価委員会 委員

役職
教務課長（委員長）
花き生産コース 主任
花き装飾コース 主任
造園緑化コース 主任
管理調整係長
教務係長

資料8-2 岐阜県立国際園芸アカデミー アセスメント・ポリシー

内部質保証推進委員会制定

岐阜県立国際園芸アカデミーは、学修成果の評価に関する方針として、アセスメント・ポリシーを以下のように定める。

(目的)

1. 岐阜県立国際園芸アカデミーは、ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)の3つの方針に基づく教育の質保証の活動とその結果について、点検・評価し、必要な改善を実施することにより、教育・研究水準の向上と教育・研究活動の活性化を図る。

(評価指標と評価の実施)

1. 学修成果の評価指標は、①機関（学校）レベル、教育課程(マイスター科)レベル ②授業科目レベルの2段階及び④入学時、⑤在学時、⑥卒業時・卒業後の3区分で管理する（表1）。
2. 1の評価指標について、アセスメント・チェックリストに基づいて評価を実施する。

(評価及び改善に繋げる体制)

1. アセスメント・チェック実施者は、評価指標ごとに実績をとりまとめ、分析を行い、改善方策案を作成し、内部質保証推進委員会に報告する。
2. 内部質保証推進委員会は、報告された改善方策案の適切性を評価し、改善方策の承認を行う。また、各評価指標を分析、評価し、学修成果の総括的評価を行う。
3. 実施者は、承認を受けた改善方策に基づき、改善を実施する。
4. 内部質保証推進委員会は、改善結果の検証及び3つの方針の検証を行う。

表1 学修成果の評価指標

	④入学時	⑤在学時	⑥卒業時・卒業後
① 機関(学校)レベル 教育課程(マイスター科)レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験結果 ・調査書の精査 ・志望動機分析（志願理由書） ・入試面接の審査結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・G P A ・単位修得状況 ・資格・免許取得状況 ・ボランティア活動実績 ・退学率・休学率 ・進級率 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時アンケート ・卒業率 ・就職率・進学率 ・卒業生アンケート
② 授業科目レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート ・インターシップ評価 ・成績評価分布 ・単位修得状況 ・資格・免許取得状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究・卒業制作の成績評価

国際園芸アカデミー アセスメント・チェックリスト

		No.	評価指標	実施時期	実施頻度	対象	評価項目	評価手法	実施者	結果の活用方法																											
① 機関（学校） レベル・ 教育課程（ マイスター 科） レベル	㉑ 入学時	1	・筆記試験結果 ・調査書の精査 ・志望動機分析 (志願理由書) ・入試面接の審査結果	11～2月	年1回	新1年生	筆記試験、調査書、志願理由書、 入試面接審査の結果（得点）	筆記試験/調査書/ 志願理由書/入試面 面接審査	入試委員 会	試験科目・配点等の見直し																											
				3月	年1回	全学年	筆記試験、調査書、志願理由書、 入試面接審査の結果（得点）とそ の後のGPA、単位修得状況、退学 休学状況等との関係	筆記試験/調査書/ 志願理由書/入試面 面接審査/GPA/単位 取得状況/退学休学 状況	入試委員 会	試験科目・配点等の見直し カリキュラム、授業科目の見直し 3つのポリシーの見直し																											
	㉒ 在学時	2	・GPA ・単位修得状況	10月・3月	半期ごと	全開講科目	GPA、単位修得数	各科目のシラバス に記載された評価 手法	自己点 検・評価 委員会	学年毎の平均GPA、単位修得数の推移や コース毎の比較等実施し、カリキュラム や授業科目を改善																											
											3	・資格・免許取得状況	10月・3月	半期ごと	全学年	技能検定(園芸装飾、フラワー装 飾、造園)、造園施工管理技士、初 級園芸福祉士、その他	受検結果	総務委員 会	対策授業の点検や支援体制の見直し																		
																				4	・ボランティア活動実績	10月・3月	半期ごと	全学年	ボランティア活動内容、実績	ボランティア活動 実績	総務委員 会	ボランティア活動の点検や支援体制の見 直し									
																													5	・退学率・休学率 ・進級率	3月	年1回	全学年	退学率・休学率とその理由、進級 率	資料	自己点 検・評価 委員会	学年毎の退学率・休学率、進級率の推移 等比較し、改善を実施
	7	・卒業率 ・就職率・進学率	3月	年1回	卒業生	卒業率、就職率・進学率	資料	自己点 検・評価 委員会	学年毎の卒業率、就職率・進学率の推移 や比較を検証し、改善を実施																												
										8	・卒業生アンケート	3月	年1回	既卒生	卒業生アンケート項目（学修成果 と現在の状況等）	アンケート調査	教務委員 会	身につけた専門的能力、教養的能力につ いて、卒業後のキャリアへの影響を検証 し、カリキュラム、授業科目及び生涯学 習講座に反映																			

		No.	評価指標	実施時期	実施頻度	対象	評価項目	評価手法	実施者	結果の活用方法
② 授業科目レベル	⑥ 在学時	9	・授業評価アンケート	9月・2月	半期ごと	全開講科目	アンケート評価項目	アンケート調査	教務委員会	試験の平均点、成績分布など成績評価結果等とあわせて授業アンケート結果を参照し、授業科目の点検実施 教務委員会において、カリキュラム全体についても検証し、見直しや改善を実施
		10	・インターンシップ評価	9月・10月・12月・4月	インターンシップ I、II、III ごと	インターンシップ 受入企業等	インターンシップ評価票 評価項目	インターンシップ評価	教務委員会	課題や要望への対応 業界で必要としている人材、技能、資格等について、授業科目に反映
		11	・成績評価分布 ・単位修得状況	10月・3月	半期ごと	全開講科目	成績評価分布、単位修得者数	各科目のシラバスに記載された評価手法	自己点検・評価委員会	科目毎の成績評価分布、単位修得者数を確認し、カリキュラムや授業科目を改善
		12	・資格・免許取得状況	10月・3月	半期ごと	全学年	技能検定(園芸装飾、フラワー装飾、造園)、造園施工管理技士、初級園芸福祉士	受検結果	総務委員会	対策授業の点検や支援体制の見直し
	⑦ 卒業時	13	・卒業研究・卒業制作の成績評価	2月	年1回	卒業生	卒業研究・卒業制作の成績評価	シラバスに記載された評価手法	自己点検・評価委員会	コース毎の単位修得者数、成績評価分布を確認し、授業科目を改善

資料10-1 花と緑の連携授業 (令和5年度)

実施日	高校名	学科・学年	人数	内容	教員
5/12	恵那農業高等学校	園芸デザイン科 3年	32	花束ラッピング(スパイラル)	吉田、林
10/6	郡上高等学校	園芸科学科 3年	6	トルコギキョウの交雑育種と切花の鮮度保持	前田
11/16	岐阜農林高等学校	生物工学科 2年	40	会社の仕組み、キャリア形成	佐藤
11/22	郡上高等学校	園芸科学科 2年	16	季節の花を使った商品(アレンジメント)	林
12/7	岐阜農林高等学校	生物工学科 2年	40	マネーリテラシー、労働法	佐藤
2/20	恵那農業高等学校	園芸デザイン科 2年	31	コサージュの制作	吉田、林

資料10-2 生涯学習講座 (令和5年度)

○ 実務能力向上講座【実務者向け】

開催日	講座名	講師	受講者数 (うちオンライン)	定員
4/5	園芸福祉サポーターフォローアップ講座①	相田	9	10
5/9	園芸福祉サポーターフォローアップ講座②	相田	8	10
6/27	園芸福祉サポーターフォローアップ講座③	相田	8	10
6/29	公園の管理運営の実践講座	今西	16(14)	25
7/12	道路空間緑化の管理実践講座	今西	12(11)	25
8/8	寄せ植え華道 上級講座	白田 吉田	3	10
8/29	花と緑のおさらい講座① 花き栽培の基礎講習～土壌編～	白田	23(21)	25
9/5	緑の法体系	今西	13(13)	25
11/9	花と緑のおさらい講座② ～経営編～	佐藤	13(11)	25

11/15	花と緑のおさらい講座③ ～SNS活用編～	井上	11(10)	25
12/12	花と緑のおさらい講座③ ～ディスプレイ編～	林	11(9)	25
2/21	園芸福祉サポーターフォローアップ 講座④	相田	18	10

※会場：国際園芸アカデミー

○ 専門講座【一般向け】

開催日	講座名	講師	受講者数 (うちオンライン)	定員
7/19	【1回目】花壇苗づくりと活用講座 ～めざせ！苗づくり名人～	前田	20	20
7/22	ザ・メイキング「花束ができるまで」【親子向け】 ～切花の収穫から、花束づくりまで体験しよう～	臼田 吉田	6組 18	20
8/2	ハーバリウムづくり in 飛騨【高校生まで】 ～キラキラ☆お花の水族館～	林	7組 19	20
8/3	“花”で知る、あなたの知らない世界 ～ようこそ！オランダの”花”旅へ～	吉田	12 (5)	25
9/6	【2回目】花壇苗づくりと活用講座 ～めざせ！苗づくり名人～	前田	20	20
10/11	樹木の剪定基礎講座（実習付き） ～あなたのお庭をアップグレード～	新井	19	20
12/11	園芸福祉でしあわせづくり ～みんなで学ぼう、ハーブの活用～	相田	17	20
12/23	お正月飾りづくり【親子向け】 ～身近な植物で、ハッピーニューイヤー～	林	20	20

※会場：8/2はJAひだ本店 大会議室、その他は国際園芸アカデミー

資料10-3 ボランティア活動（令和5年度）

実施日	活動内容	活動場所	実施主体 (依頼元)	参加学 生数
4/21（金）	可児市花いっぱい運動・春植え 花壇植えつけ管理講習の補助	可児市 (やすらぎの森)	可児市	2名

実施日	活動内容	活動場所	実施主体 (依頼元)	参加学 生数
4/22 (土)	関ヶ原開戦地景観整備事業に おけるフジバカマ植栽作業	関ヶ原町 (町内休耕田)	関ヶ原ゼネラル・サー ビス株式会社	5名
5/12 (金)	花と緑の連携授業 アシスタント	恵那市 (恵那農業高校)	恵那農業高校	4名
5/13 (土)	「バラまつり大野 2023」 における学内生産物販売 ブース出店	揖斐郡大野町 (大野町バラ公園)	大野町観光協会	3名
5/20 (土)	高校生花いけバトル全国選抜 大会の準備、競技アシスタント	可児市 (ぎふワールド・ ローズガーデン)	全国高校生花いけバ トル事務局	6名
6/17 (土)	初夏のぎふロードプレーヤー ぎふワールド・ローズガーデン での剪定作業	可児市 (ぎふワールド・ ローズガーデン)	可児市建設業連合会 可児造園協同組合	2名
5/29 (月) 6/7(水), 19(月)	可児市市議会会場を装飾する バラ鉢植えのラッピング 3回合計 70 鉢	学内	可児市	延べ 31名
7/1 (土)	「花と緑の癒し・環境フェア」に おけるマイクロ寄せ植え体験 教室	各務原市 (イオンモール各務原店)	岐阜県	2名
7/27 (木)	高校生花いけバトル岐阜県大 会練習会準備、アシスタント	可児市 (ぎふワールド・ ローズガーデン)	全国高校生花いけ バトル事務局	2名
7/30 (日)、 7/31 (月)	オープンキャンパス体験授業 補助	学内	国際園芸アカデミー	26名
9/12 (火)	緑の学園 体験授業補助	学内	国際園芸アカデミー	7名
10/31(火)	可児市花いっぱい運動・秋植え 花壇の植え付け管理講習の補 助	可児市 (やすらぎの森)	可児市	2名

実施日	活動内容	活動場所	実施主体 (依頼元)	参加学 生数
11/4 (土)	秋のロードプレーヤー ぎふワールド・ローズガーデン での剪定作業	可児市 (ぎふワールド・ ローズガーデン)	可児市建設業連合会 ・可児造園協同組合	2名
11/11 (土)	フジバカマ収穫体験、ポプリ制 作体験の補助	関ヶ原町 (せきがはら人間村 人間塾)	関ヶ原ゼネラル・サー ビス株式会社	3名
11/14 (火)	花育授業フラワーアレンジメ ント体験補助	郡上市 (郡上東小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	3名
11/18 (土)	桂ヶ丘秋祭りにおける花苗 販売	可児市 (桂ヶ丘集会所)	桂ヶ丘まちづくり プロジェクト委員会	2名
11/22 (水)	花と緑の連携授業 アシスタ ント	郡上市 (郡上高等学校)	郡上高等学校	2名
11/27 (月)	花育授業フラワーアレンジメ ント体験補助	中津川市 (付知南小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	5名
12/18 (月)	JR 岐阜駅周辺賑わい創出イベ ント「花で彩るクリスマス」 花飾り制作	岐阜市 (アクティブG)	J R 岐阜駅周辺施設 連携促進協議会	7名
2/8 (木)	フラワーバレンタイン 花束 作成 150 束	学内	園芸特産振興会	6名
2/9 (金)	フラワーバレンタイン 花束 渡し	可児市(可児市役所) 美濃加茂市(美濃加 茂市役所)	国際園芸アカデミー	4名
2/19 (月)	岐阜県園芸特産振興会 60 周年 記念式典用コサージュ制作 50 個	学内	園芸特産振興会	5名
2/20 (火)	花と緑の連携授業 アシスタ ント	恵那農業高校	恵那農業高校	7名

「岐阜県立国際園芸アカデミー国際交流計画」(計画期間：令和4年度～令和8年度)の概要

令和4年9月

本学の概要

1 設置

- ・H16(2004)年4月開学
- ・学校教育法に基づく専修学校(修業年限2年)
- ・H30(2018)年2月職業実践専門課程認定

2 教育目標

「花と緑に関する高度な知識と技術を持ち、産業を現場で支える担い手として活躍する実務者の育成」

本学の国際交流の主な実績

1 モロッコ王国(ウジュダ・アンガット府)

- ・本学職員による調査、指導【3回、延4人】
H20(2008)年、H22(2010)年、H24(2012)年
- ・本学への研修員受入れ【5回、延5人】
H21(2009)年、H22(2010)年、H23(2011)年、H29(2017)年、R2(2020)年

2 フランス(ヴェルサイユ国立高等造園学校等)

- ・本学職員による調査【2回、延3人】
R元(2019)年、R4(2022)年
- ・本学への研修員受入れ【1回、2人】
R2(2020)年

3 中国(江西省)

- ・本学への研修員受入れ【2回、2人】
H22(2010)年、H23(2011)年

4 ベトナム(ゲアン省)

- ・本学への研修員受入れ【1回、2人】
H28(2016)年

本学の海外視察研修の実績

海外視察研修の概要

- ・2年生前期の必修授業(90時数)
- <到達目標>
- 海外でフラワー、ガーデンの最新デザインを知る
- 海外の有名庭園、花き流通施設を知る
- 海外体験を通じて国際感覚を養う

実施回数：15回 (H17(2005)～R元(2019))
R2～R4はコロナ対策のため国内視察

研修先国：イギリス14回、オランダ5回、フランス2回

学生総数：延べ267人

引率者数：延べ30人

主な視察先(イギリス)：チェルシーフラワーショー、ウィズリーガーデン、キューガーデン

現状と課題

【現状】

- ・コロナ禍において外国人留学生、日本人学生の留学者数が激減
- ・国際市場開放等の中、コロナ禍において改めて国際交流・協力の重要性が再認識
- ・SDGsの教育目標実現のため持続可能な開発のための教育(ESD)の重要性が認識
- ・本学の国際交流実績が国際化に直接結びついていない。開学からの留学生が2人と少ない。

【本学の課題】

- ・園芸・造園の最先端であるヨーロッパ等において知識、技術、人材育成のノウハウを学ぶため、3つの課題解決が必要

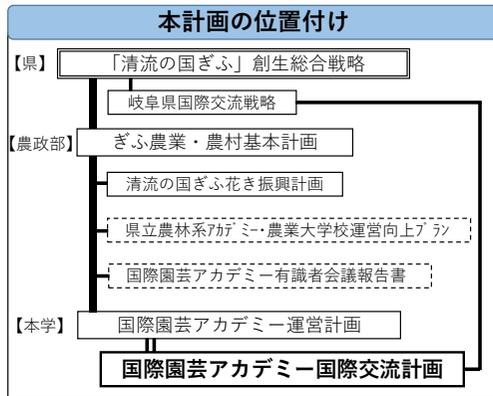
①ヨーロッパ等の国々における教育機関等と本学とのネットワークを構築

②相互交流に係る合意を行い、合意後は学生の派遣及び研修生の受入れ等の相互交流を推進

③相互交流や本学の学習成果等を海外へ情報発信し、海外の最新技術、トレンド等を情報収集

基本方針(目指す姿)

本学学生や教職員の海外での研修、海外の教育機関からの研究員の受入れ、海外を相手にした情報発信や情報収集を行い、**国際性と自立性を備え、花と緑の産業の中核となって活躍できる人材及び地域社会に貢献できる人材を育成するとともに、本学の国際化を推進する。**



運営方針と主な推進施策、目標指標

1 海外の教育機関等との連携体制の整備

- ・国際交流事業や教育関係等の情報を収集するため、国際交流関係機関等との連携を強化
- ・フランスやイギリス、カナダ等の教育機関等との連携体制構築に向けた現地調査及び当該予算の確保
- ・相互交流の合意に向け、ヴェルサイユ国立高等造園学校付属研究所所属研究員との連絡・調整を強化
- ・ヴェルサイユ国立高等造園学校を核としたフランスやイギリスでの人的ネットワークを拡大

目標指標		目標値 (R8年度)
①	海外の教育機関等調査	毎年1ヵ国調査 (R4年度から)
②	国内教育関係機関等との連絡会議の開催	毎年2回開催 (R5年度から)

2 海外の教育機関等との人材育成面での連携

- ・本学学生の体験派遣や本学への研修員受入れを適切に行うため、海外の教育機関等と人材育成に係る合意に向けた調整を推進
- ・合意が得られた機関を核とし、欧米の他の機関との相互交流に係る合意を拡大
- ・合意後は、最適時期、実施内容、人選等を調整し、学生及び教職員等の相互交流を定着
- ・本学への留学生の門戸を広げるため、受験資格の見直しを行うとともに需要に応じた魅力ある教育プログラムを整備

目標指標		目標値 (R8年度)
③	海外の教育機関等との相互交流の合意	2機関と合意
④	海外の教育機関等との相互交流の定着	派遣と受入れを交互に実施

3 海外を相手にした情報発信と情報収集

- ・海外の教育機関等との相互交流や卒業研究・卒業制作、企業との共同研究等の成果をホームページやSNSを活用して情報発信
- ・英語版ホームページを更新・充実
- ・海外で仕事をしている卒業生や本学を卒業した留学生、国際交流員等による特別講義を開催
- ・外務省やJICA等の国際交流に係る関連事業の活用可能性を調査

目標指標		目標値 (R8年度)
⑤	学修成果のHP等による情報発信	卒業論文等の公表 (R4年度から)
⑥	国際交流員等による特別講義の開催	毎年1回開催 (R5年度から)

評価
学校関係者評価委員会

施策推進

目標の達成

改善

資料 11-2 国際交流の実績

実施日	主催・連携先	連 携 内 容	教職員名
4月17日 (月)～ 4月28日 (金)	ルフレヌ職業訓練 農業推進センター (フランス)	ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所 (LAREP)所属研究員の仲介によりルフレヌ職業 訓練農業推進センターのフランス人研修生フロ ーレンス ティボ氏が本校で2週間研修 マイスター科学生と交流	今西・相田・新井
7月4日(火) 8月7日(月) 10月10日 (火) 3月19日 (火)	岐阜地域留学生交流 推進協議会	・「岐阜地域留学生交流推進協議会」の会議に参 加し、県内の教育機関等と連携(7/4, 8/7, 3/19) ・留学生に関する調査に参加(10/10)	山本 山本 小椋 小椋
9月26日 (火)	岐阜県立国際園芸ア カデミー	フランス人岐阜県国際交流員を招き 特別講義「フランスについて」実施	マイスター科学生 43名、教職員
10月26日 (木)～10月 29日(日)	中国成都農業科学技 術職業学校	中国成都農業科学技術職業学校にて今西学長が 講演	今西
1月17日 (水)	岐阜県立国際園芸ア カデミー	「植物ビジネス論」において、本学OBの田中修 一氏(中国 JIAXING SHUYI GARDEN)による中国の 造園ビジネスについての講義	佐藤、井上、今西、 前田、マイスター科 2年13名
2月13日 (火)～2月 15日(木)	日本造園学会 韓国ソウル大学	日本造園学会リノベーション推進委員会による 講演会を韓国ソウル大学で実施。今西学長が講演	今西
9月13日 (水), 10月 14日(土), 2 月2日(金)	ヴェルサイユ国立高 等造園学校附属研究 所(フランス)	ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所 (LAREP)所属研究員と情報交換	今西
2月16日 (金)	岐阜県立国際園芸ア カデミー	令和5年度活動成果報告会にて、卒業生の勝みゆ き氏がオーストラリアからリモート講演 「オーストラリアの園芸・造園業界で働く」	教職員
2月27日 (火)	(一財)公園財団	海外情報講演会 参加 「2024年パリオリンピック開催地 パリ市の公 共空間緑地の取り組み」	今西

実施日	主催・連携先	連 携 内 容	教職員名
3月25日 (月)	ブリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)	ブリティッシュ・コロンビア大学から、 Douglas Justice 氏 (Associate director of Botanical garden) Dan Crowley 氏 (Global Conservation Consortium Manager, Botanic Gardens Conservation International) 杉山龍氏 (新渡戸記念庭園 庭園管理 学芸主任) が来校し、本学を紹介するとともに、大学、植物 園、庭園について紹介あり	今西、相田
		令和6年度4月より外国人留学生1名入学予定	